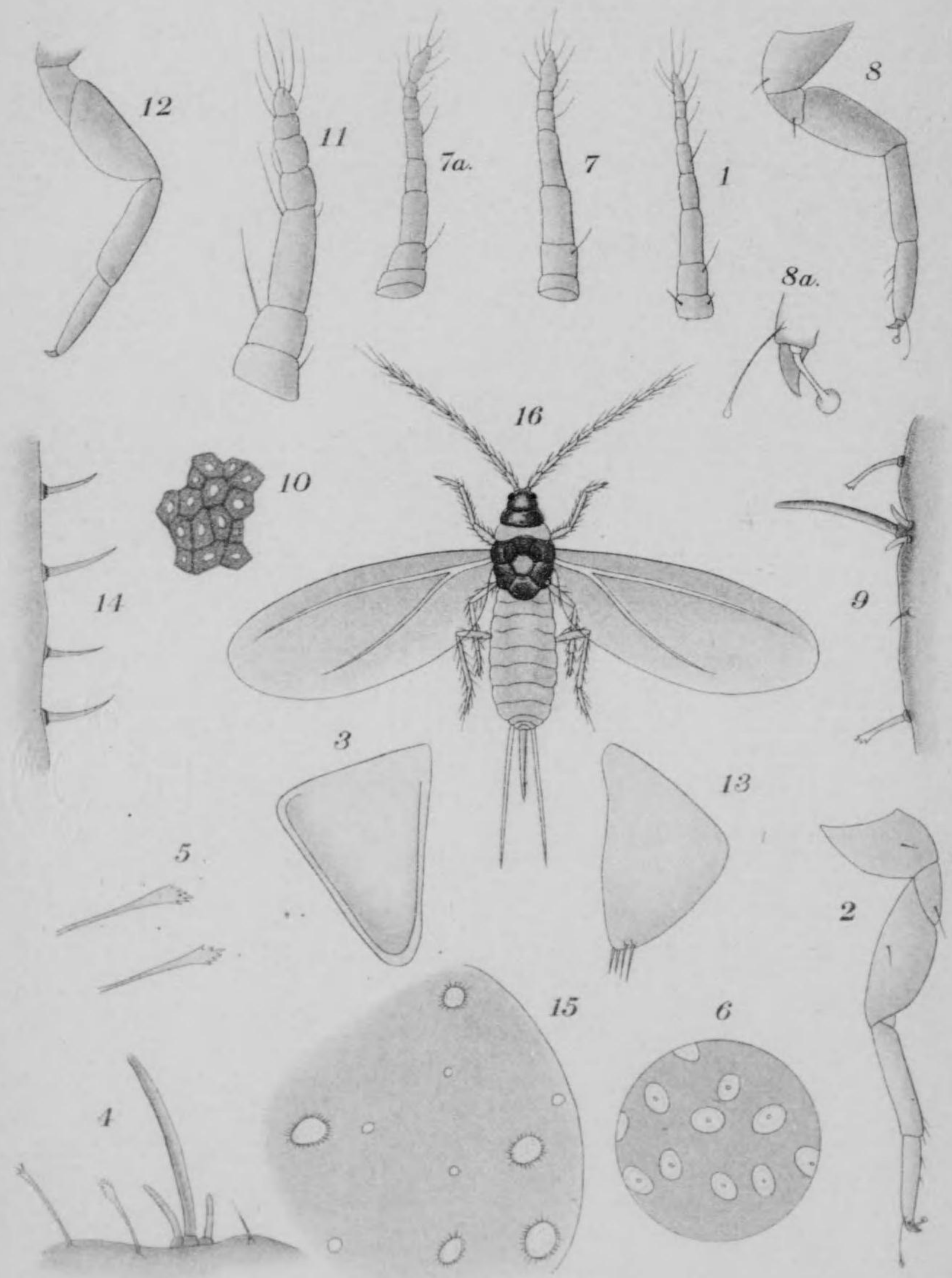


圖 二 第





第  
三  
圖



**ながかたかひがらむし (Lecanium frontale)**

1. 雌蟲 (背面)

**おほかたかひがらむし (L. glandi)**

2. 雌蟲ノ樹皮ニ寄生セル狀 (自然大)  
3. 雌蟲 (背面)

**たかちほかたかひがらむし (L. takachihoi)**

4. 雌蟲ノ栗ノ枝ニ寄生セル狀 (側面)

**かんきつのかたかひがらむし (L. pseudomagnoliarum)**

5. 雌蟲ノ枳殼ノ枝ニ寄生セル狀 (自然大)  
6. 雌蟲 (背面)

**きつかふかたかひがらむし (L. tassellatum)**

7. 雌蟲ノ棕桐ノ葉ニ寄生セル狀 (自然大)

**みかんのわたかひがらむし (Pulvinaria aurantii)**

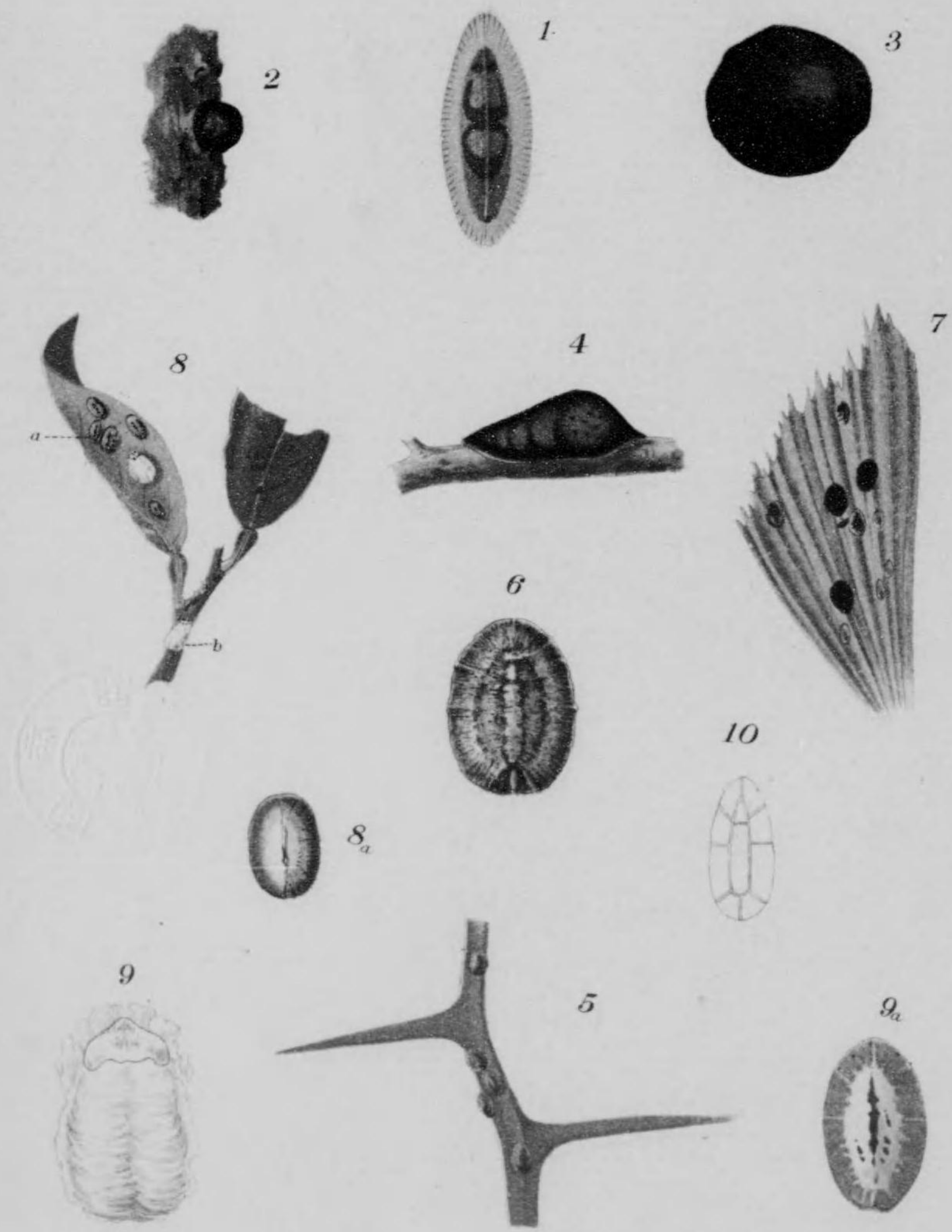
8. 柑橘ノ枝葉ニ寄生セル狀 (自然大)  
a. 雌蟲 (卵囊ヲ有セサルモノ)  
b. 雌蟲 (卵囊ヲ有セルモノ)  
8a. 雌蟲 (卵囊ヲ有セサルモノ)

**さかきのわたかひがらむし (P. psidii)**

9. 雌蟲 (卵囊ヲ有セルモノ)  
9a. 雌蟲 (卵囊ヲ有セサルモノ)  
10. 繭 (雄)



圖 三 第





第  
四  
圖



**にしがはらかたかひがらむし** (*Lecanium nishigaharae*)

1. 觸角 (雌)
2. 脚 (雌)
3. 三角板 (雌)
4. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
5. 背皮ノ斑紋 (雌)

**ひらたかたかひがらむし** (*L. hesperidum*)

6. 觸角 (雌)
7. 脚 (雌)
8. 三角板 (雌)
9. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)

**ながかたかひがらむし** (*L. frontale*)

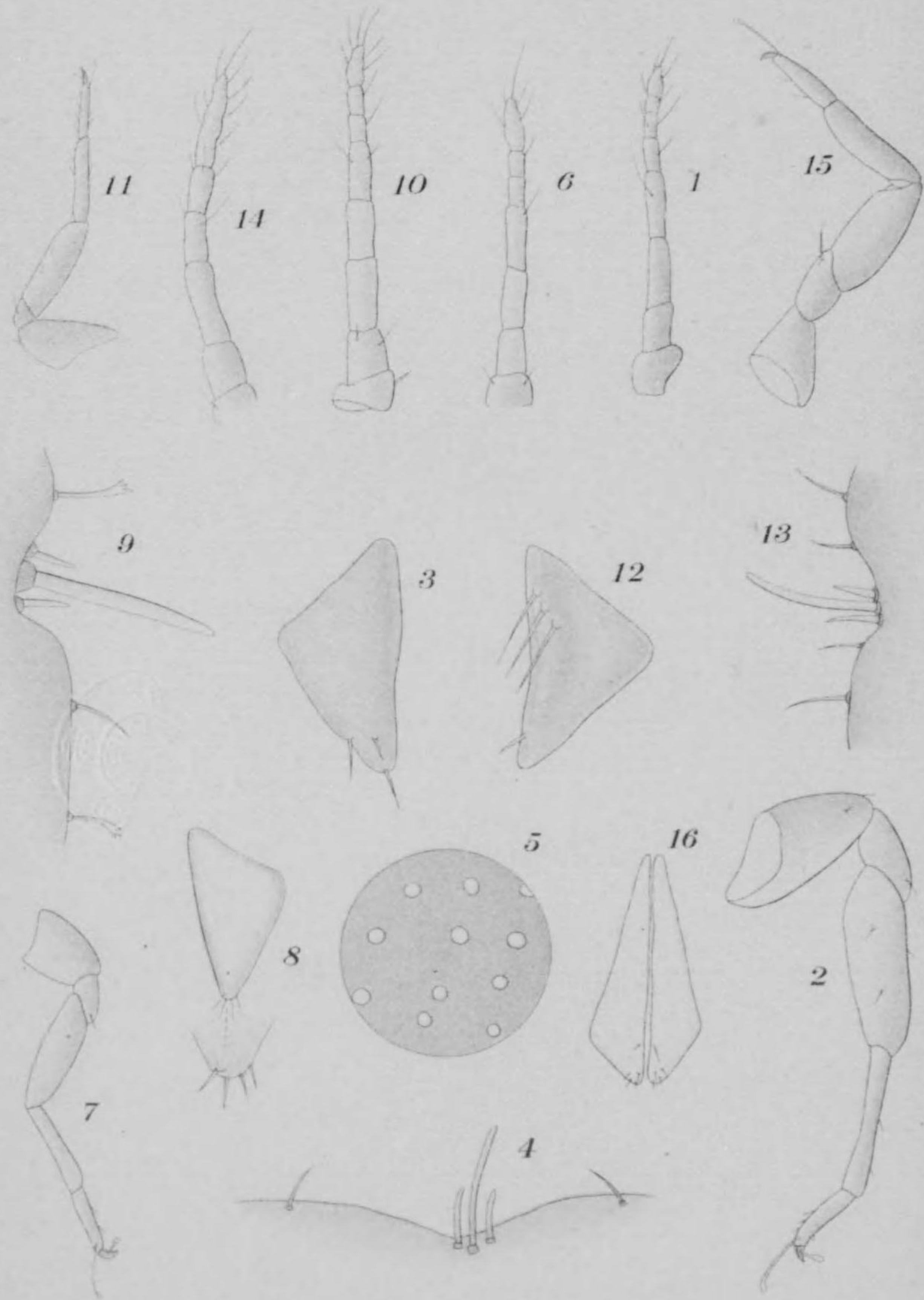
10. 觸角 (雌)
11. 脚 (雌)
12. 三角板 (雌)
13. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)

**ふかやかたかひがらむし** (*L. fukayai*)

14. 觸角 (雌)
15. 脚 (雌)
16. 三角板 (雌)



圖 四 第





第  
五  
圖



**おほかたかひがらむし (*Lecanium glaudi*)**

1. 觸角 (雌)
2. 脚 (雌)
3. 三角板 (雌)
4. 體側ノ綫レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
5. 背皮ノ斑紋 (雌)

**たかちほかたかひがらむし (*L. takachihoi*)**

6. 觸角 (雌)
7. 脚 (雌)
8. 背皮ノ斑紋 (雌)

**かんきつのかたかひがらむし (*L. psudomagnoliarum*)**

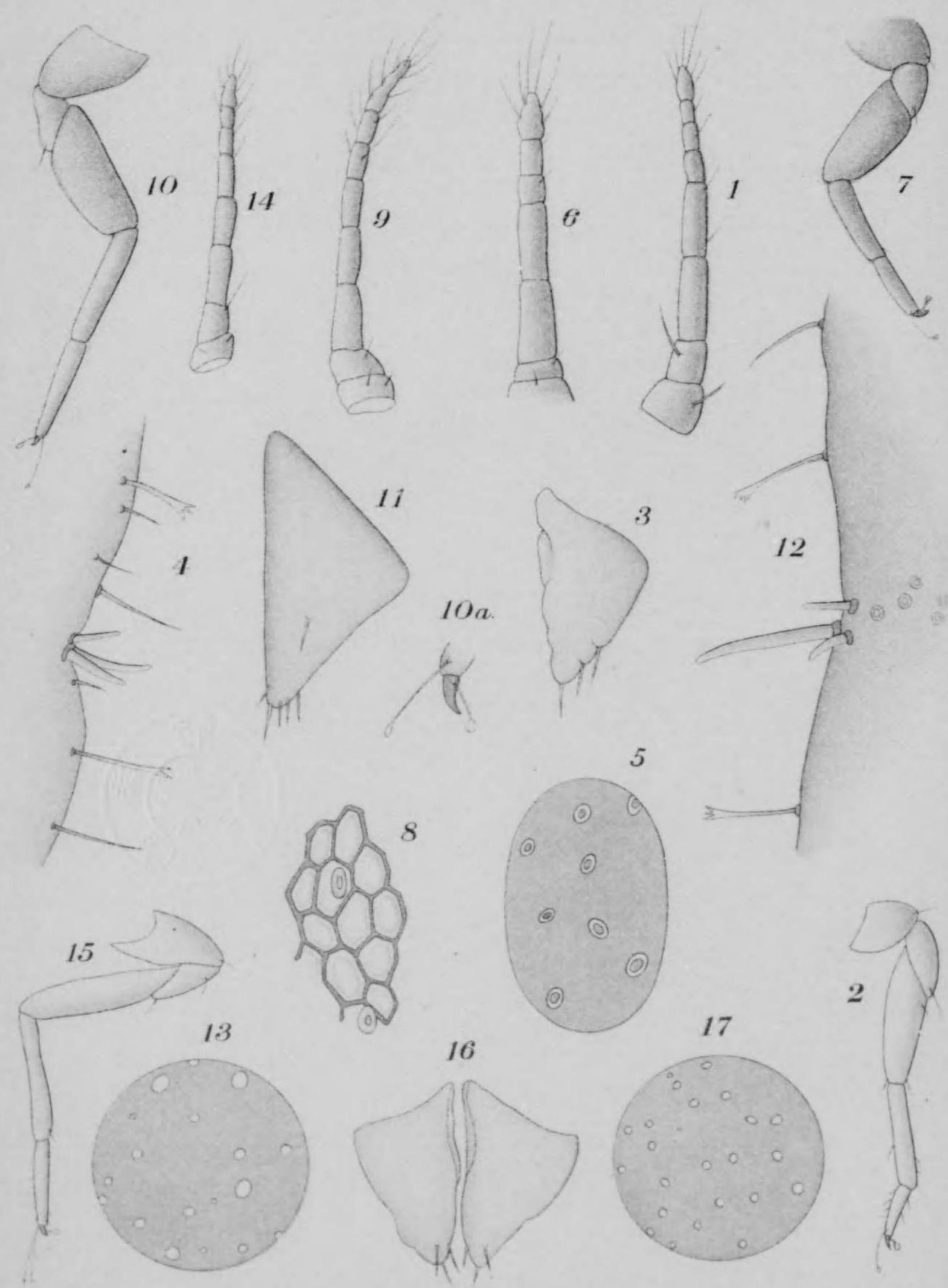
9. 觸角 (雌)
10. 脚 10a. 爪及冠球毛 (雌)
11. 三角板 (雌)
12. 體側ノ綫レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
13. 背皮ノ斑紋 (雌)

**もくれんのかたかひがらむし (*L. magnoliarum*)**

14. 觸角 (雌)
15. 脚 (雌)
16. 三角板 (雌)
17. 背皮ノ斑紋 (雌)



圖 五 第





第  
六  
圖



**きつかふかたかひがらむし (Lecanium tassellatum)**

1. 雌蟲 (背面)
2. 觸角 (雌)
3. 脚 3<sub>a</sub>. 爪及冠球毛 (雌)
4. 三角板 (雌)
5. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
6. 背皮ノ斑紋 (雌)

**みかんのわたかひがらむし (Pulvinaria acerantii)**

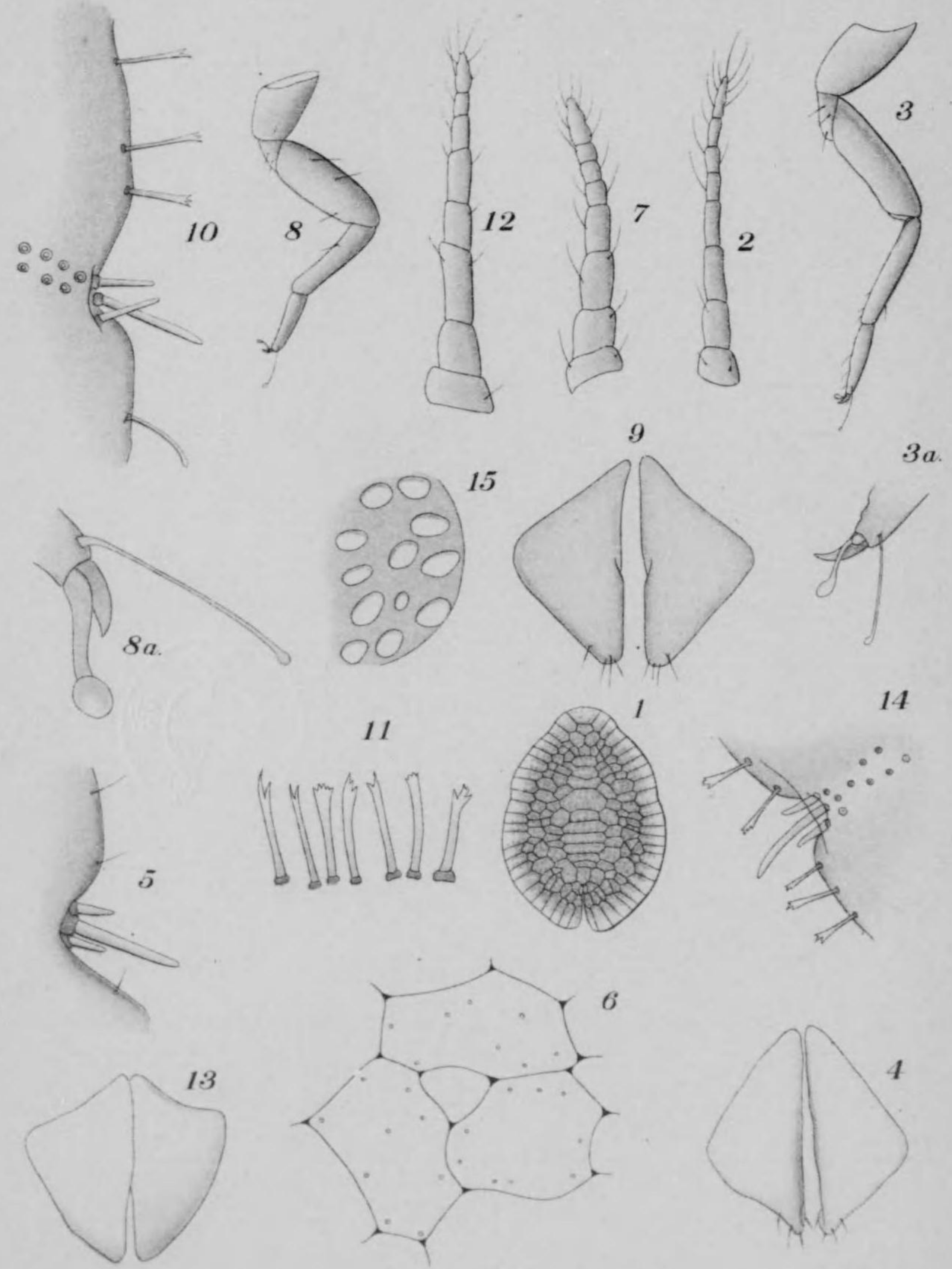
7. 觸角 (雌)
8. 脚 8<sub>a</sub>. 爪及冠球毛 (雌)
9. 三角板 (雌)
10. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
11. 縁毛 (先端分裂ノ不同ヲ示ス) (雌)

**さかきのわたかひがらむし (P. psidii)**

12. 觸角 (雌)
13. 三角板 (雌)
14. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
15. 背皮ノ斑紋 (雌)



圖 六 第





第  
七  
圖



**みかんのひめわたかひがらむし (Pulvinaria citricola)**

1. 雌蟲ノ枝葉ニ寄生セル狀 (自然大)
2. 雌蟲 (卵囊ヲ有セルモノ)
3. 雌蟲 (卵囊ヲ有セサルモノ)

**うしろしのわたかひがらむし (P. photiniae)**

4. 雌蟲ノ葉ニ寄生セル狀 (自然大)
5. 雌蟲 (卵囊ヲ有セルモノ)

**いざりのわたかひがらむし (P. idesiae)**

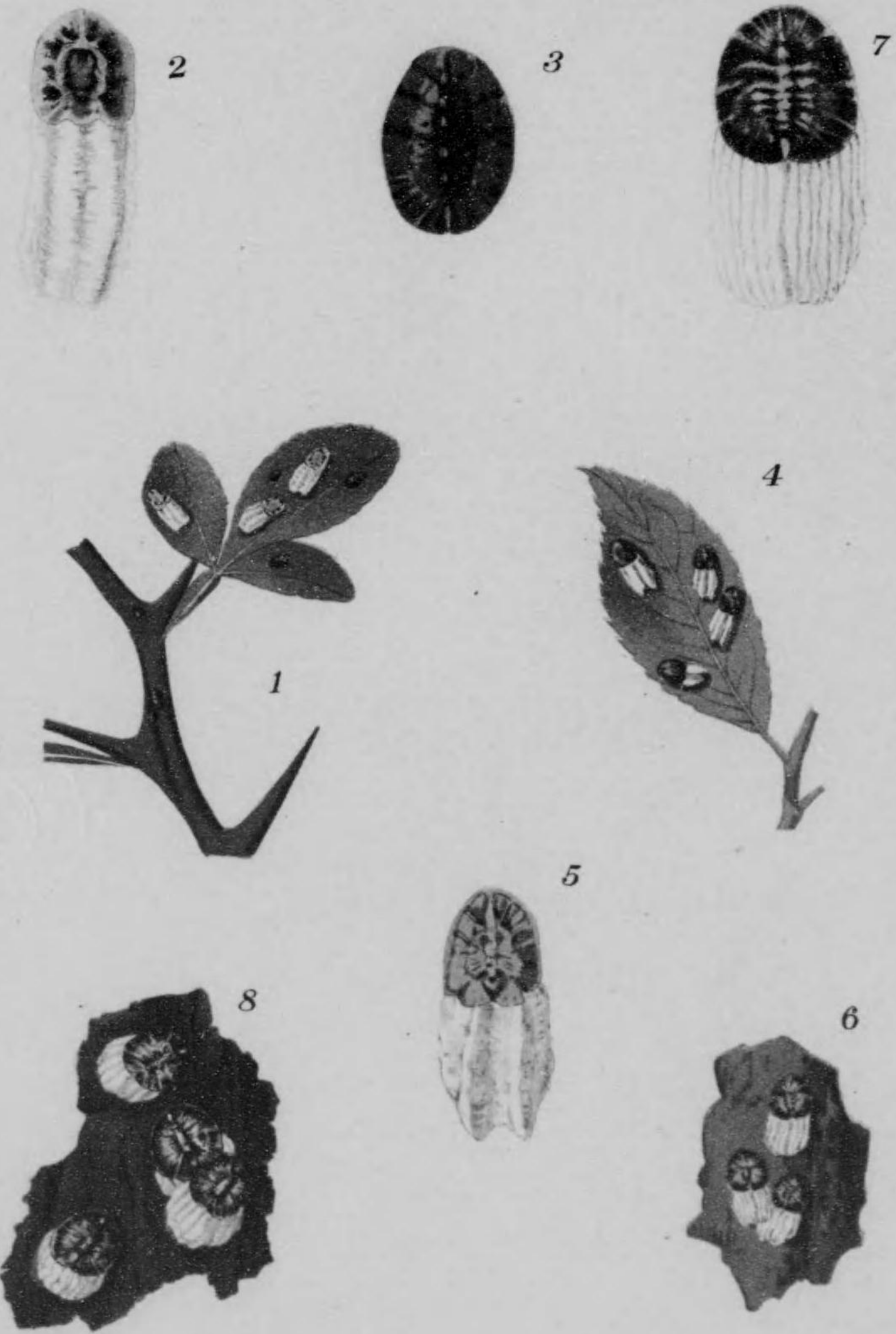
6. 雌蟲ノ樹皮ニ寄生セル狀 (自然大)
7. 雌蟲 (卵囊ヲ有セルモノ)

**もみぢのわたかひがらむし (P. horii)**

8. 雌蟲ノ樹皮ニ寄生セル狀 (自然大)

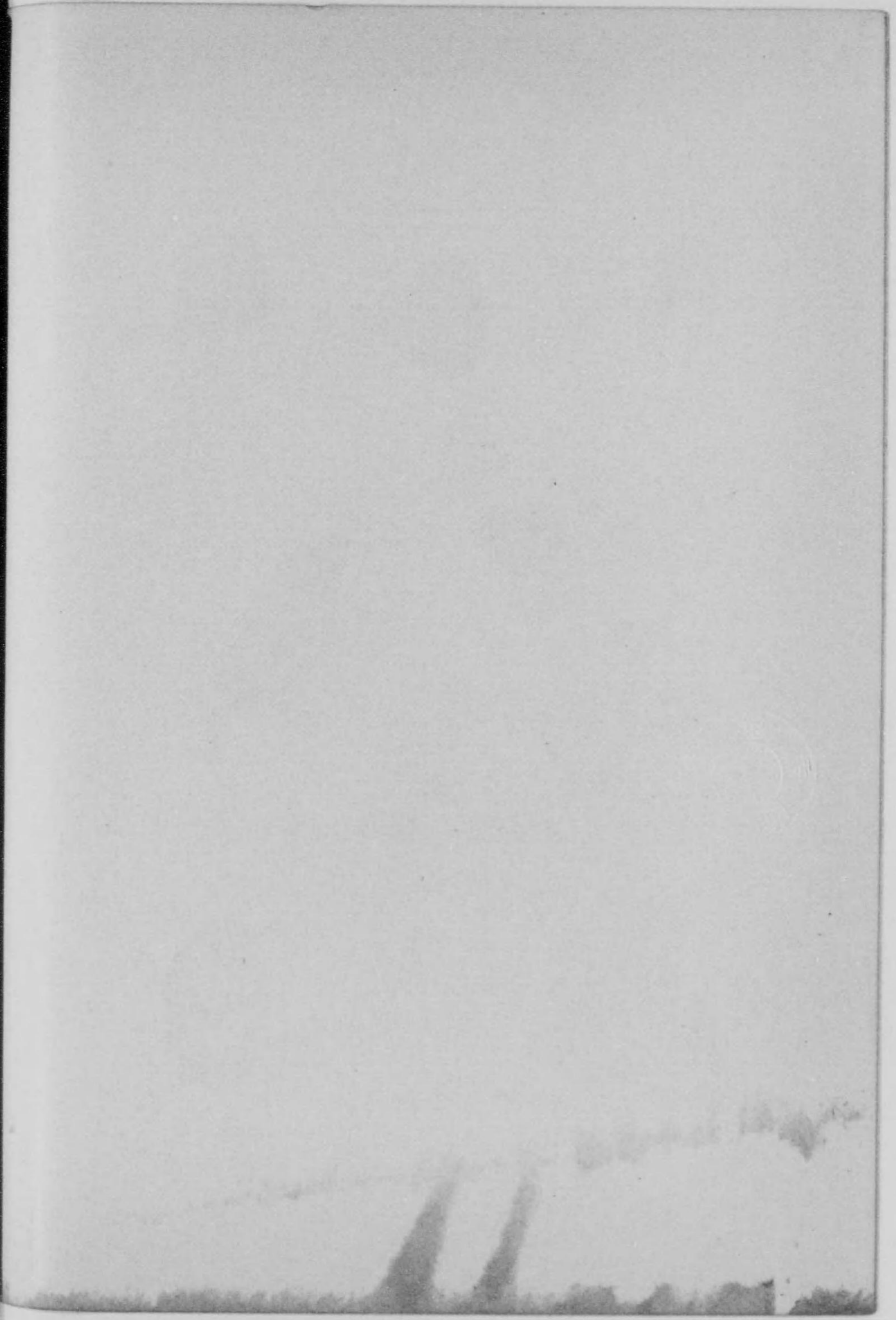
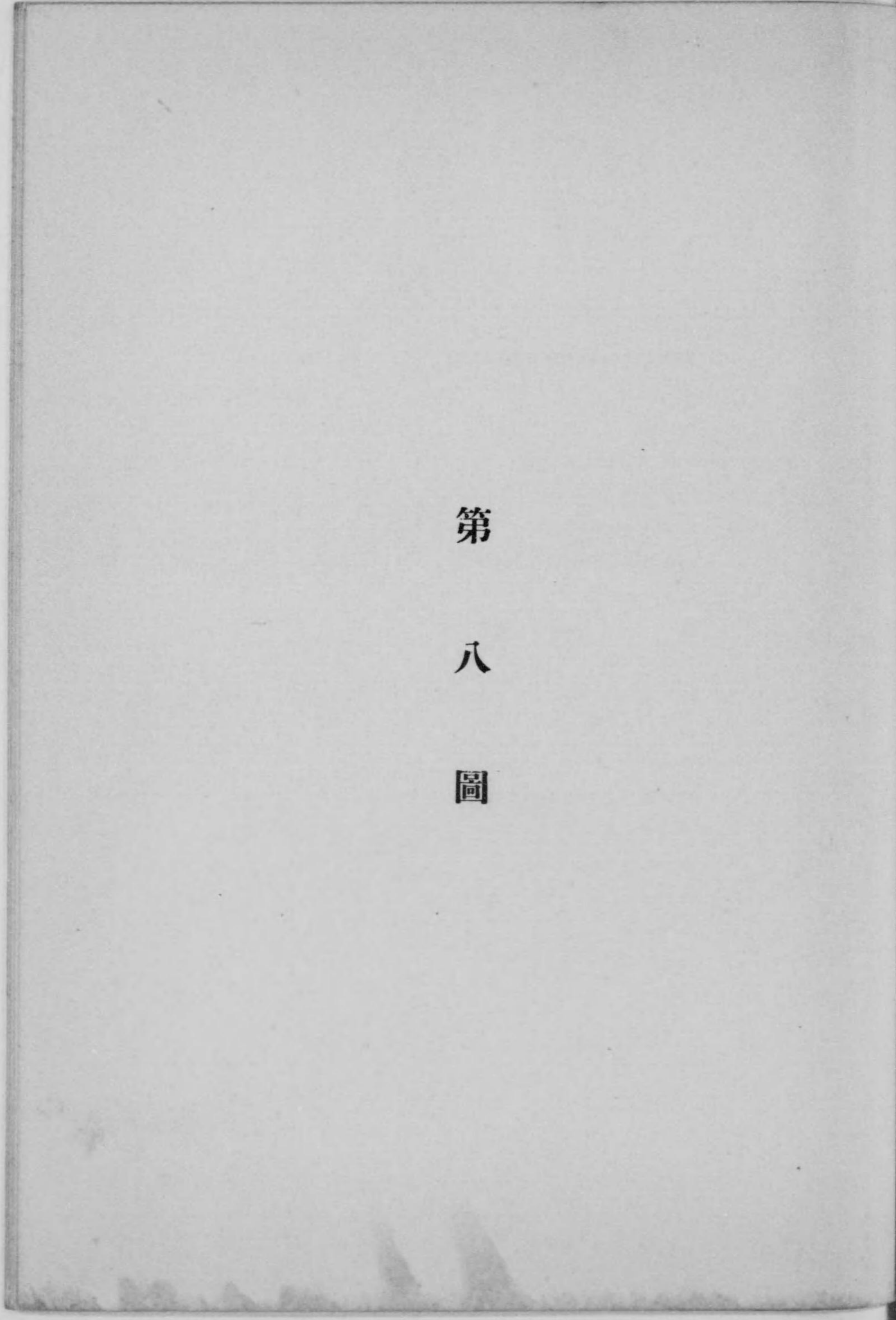


圖 七 第





第  
八  
圖





**みかんのひめわたかひがらむし (Pulvinaria citricola)**

1. 觸角 (雌)
2. 脚 (雌)
3. 三角板 (雌)
4. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
5. 背皮ノ斑紋 (雌)

**うしろしのわたかひがらむし (P. photiniae)**

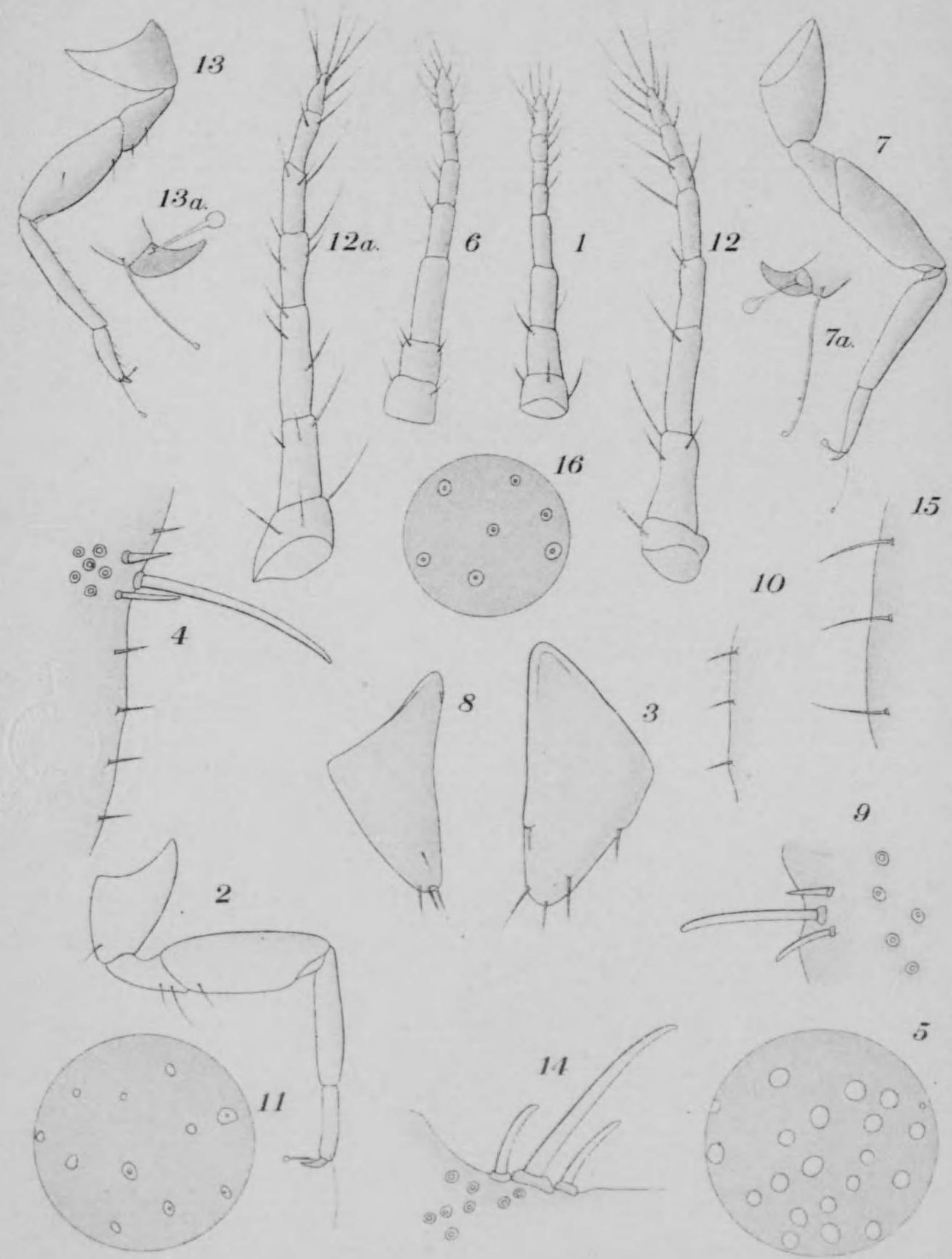
6. 觸角 (雌)
7. 脚 7a. 爪及冠球毛 (雌)
8. 三角板 (雌)
9. 體側ノ縱レニ生セル刺毛 (雌)
10. 縁毛 (雌)
11. 背皮ノ斑紋 (雌)

**いざりのわたかひがらむし (P. idesiae)**

12. 12a. 觸角 (雌)
13. 脚 13a. 爪及冠球毛 (雌)
14. 體側ノ縱レニ生セル刺毛 (雌)
15. 縁毛 (雌)
16. 背皮ノ斑紋 (雌)



圖 八 第





第  
九  
圖



**くはのわたかひがらむし (Pulvinaria kuwacola)**

1. 雌蟲ノ桑葉ノ裏面ニ寄生セル狀(自然大)
2. 雌蟲(卵囊ヲ有セルモノ)
- 2a. 雌蟲(紫色ヲ帯ヒタルモノ)

**つばきのわたかひがらむし (P. camelicola)**

3. 雌蟲ノ樹皮ニ寄生セル狀(自然大)

**やなぎのわたかひがらむし (P. oyamae)**

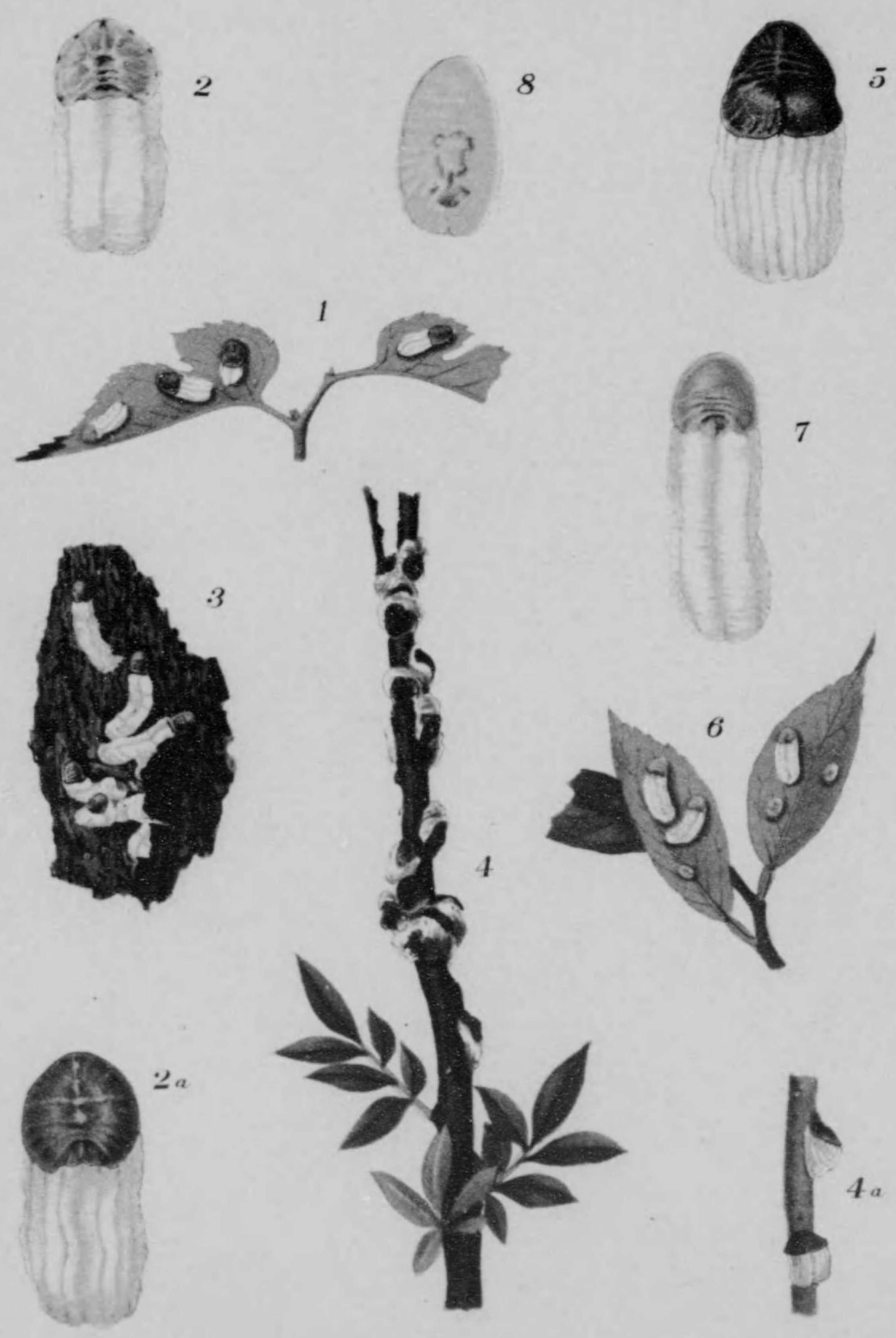
4. 4a. 雌蟲ノ樹枝ニ寄生セル狀(自然大)
5. 雌蟲(背面)

**おきつわたかひがらむし (P. okitsuensis)**

6. 雌蟲ノ柑橘ノ葉ニ寄生セル狀(自然大)
7. 雌蟲(卵囊ヲ有セルモノ)
8. 雌蟲(卵囊ヲ有セサルモノ)



圖 九 第





第  
十  
圖



**もみぢのわたかひがらむし (Pulvinaria horii)**

1. 觸角 (雌)
2. 脚 (雌)
3. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
4. 背皮ノ斑紋 (雌)

**くはのわたかひがらむし (P. kuwacola)**

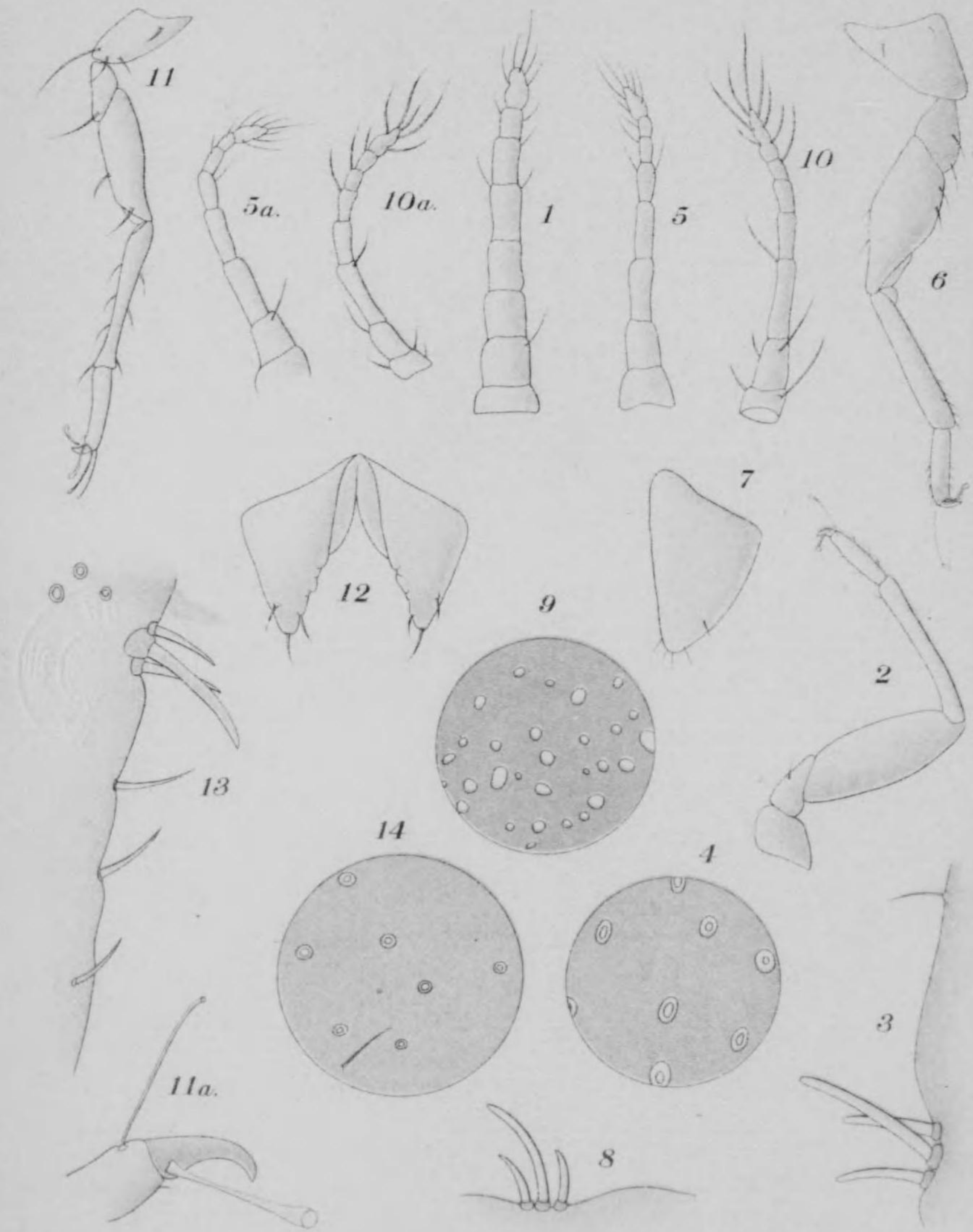
5. 5a. 觸角 (雌)
6. 脚 (雌)
7. 三角板 (雌)
8. 體側ノ縱レニ生セル刺毛 (雌)
9. 背皮ノ斑紋 (雌)

**つばきのわたかひがらむし (P. camelicola)**

10. 10a. 觸角 (雌)
11. 脚 11a. 爪及冠球毛 (雌)
12. 三角板 (雌)
13. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
14. 背皮ノ斑紋 (雌)



圖 十 第





第十圖



やなぎのわたかひがらむし (*Pulvinaria oyamae*)

1. 1a. 觸角 (雌)
2. 脚 (雌)
3. 三角板 (雌)
4. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
5. 背皮ノ斑紋 (雌)
6. 雄蟲ノ介殼下ニアルモノ 6a. 雄蟲

おきつわたかひがらむし (*P. okitsuensis*)

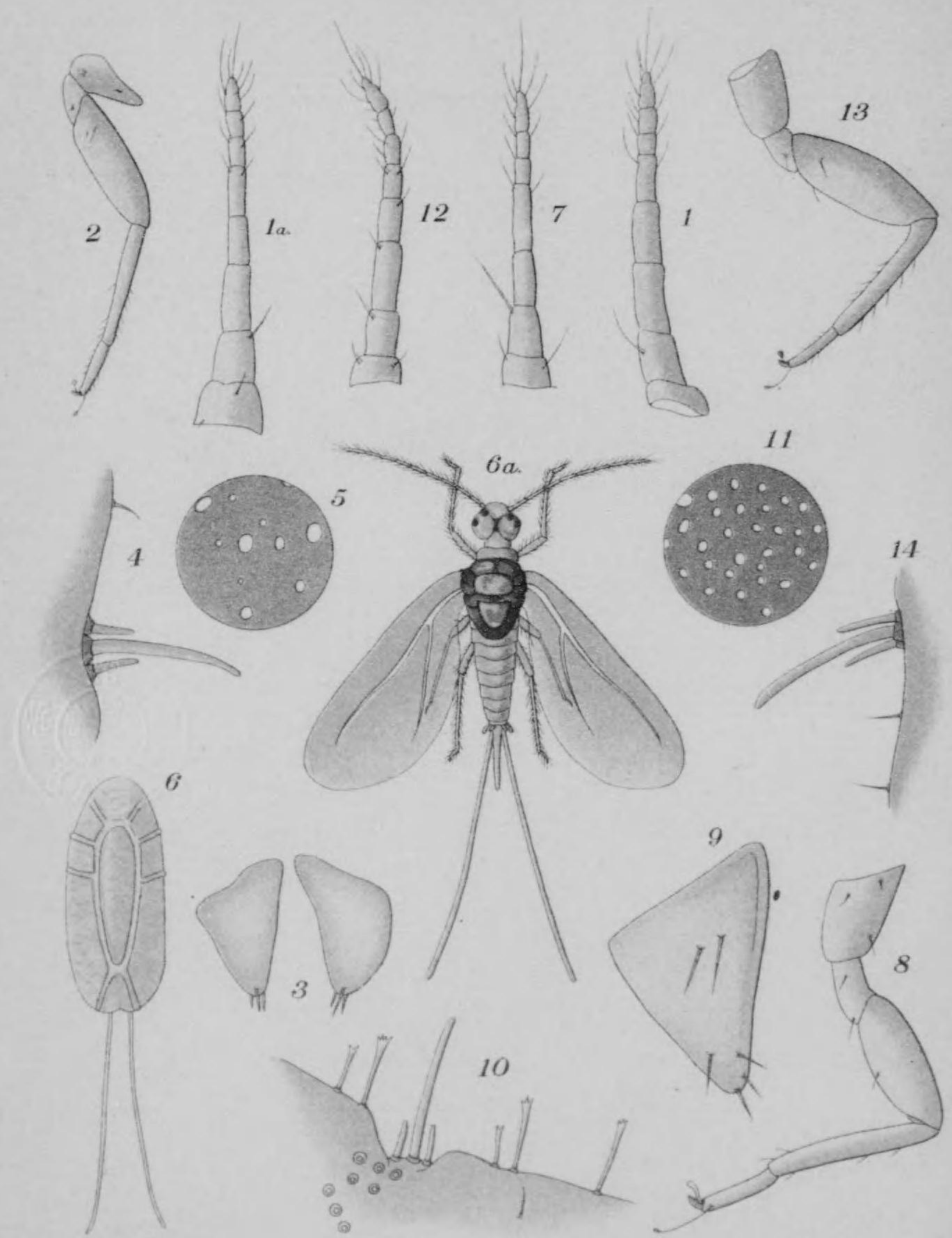
7. 觸角 (雌)
8. 脚 (雌)
9. 三角板 (雌)
10. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
11. 背皮ノ斑紋 (雌)

ながわたかひがらむし (*P. hazae*)

12. 觸角 (雌)
13. 脚 (雌)
14. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)



圖 十 第





第十二圖



**みかんのひもわたかひがらむし (Takahashia citricola)**

1. 雌蟲ノ枝葉ニ寄生セル狀 (自然大)
2. 雌蟲 (背面)

**ひもわたかひがらむし (T. japonica)**

3. 雌蟲ノ樹枝ニ寄生セル狀 (自然大)
4. 雌蟲 (卵囊ヲ有セサルモノ)

**つばきのわたかひがらもどき (Lichtensia japonica)**

5. 雌蟲 (卵囊ヲ有セルモノ)
6. 雌蟲 (分泌物ヲ以テ被ハレタルモノ)
7. 未熟ノ雌蟲

**いぼたかひがらむし (Ericerus pe-la)**

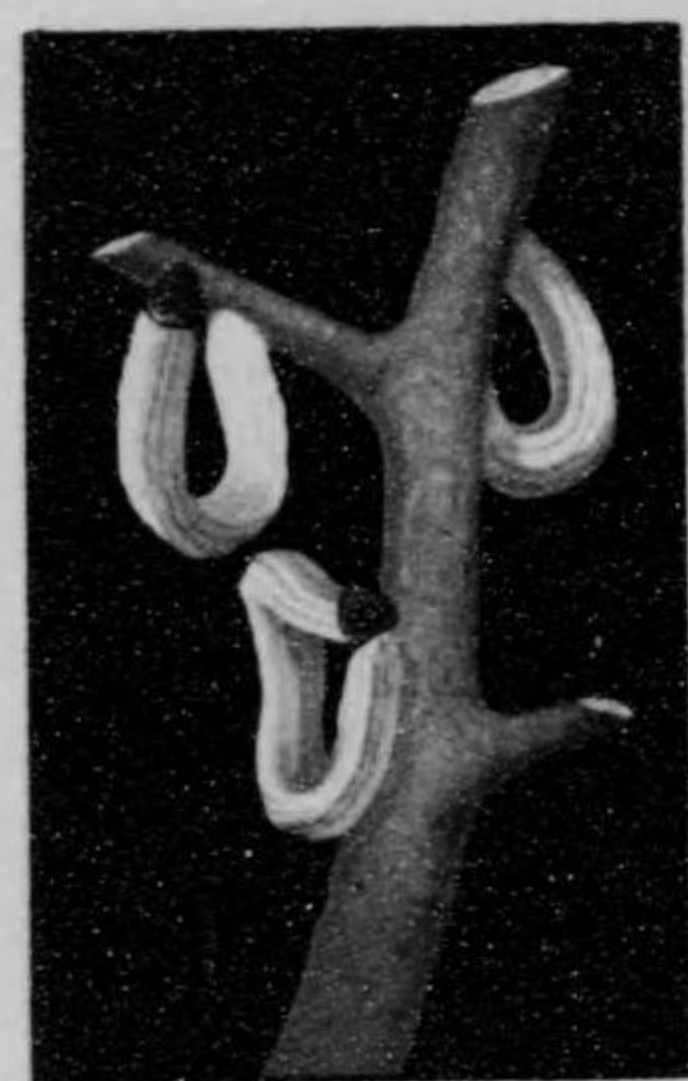
8. 水蠟樹ノ枝ニ寄生セル狀 (自然大)
  - a. 雌蟲
  - b. 雄蟲ノ白色蠟質分泌物

**るびーらふむし (Ceroplastes rubens)**

9. 雌蟲ノ柑橘ノ葉ニ寄生セル狀 (自然大)
10. 雌蟲 (背面)
11. 雌蟲 (腹面)



圖二十第



3



7



1

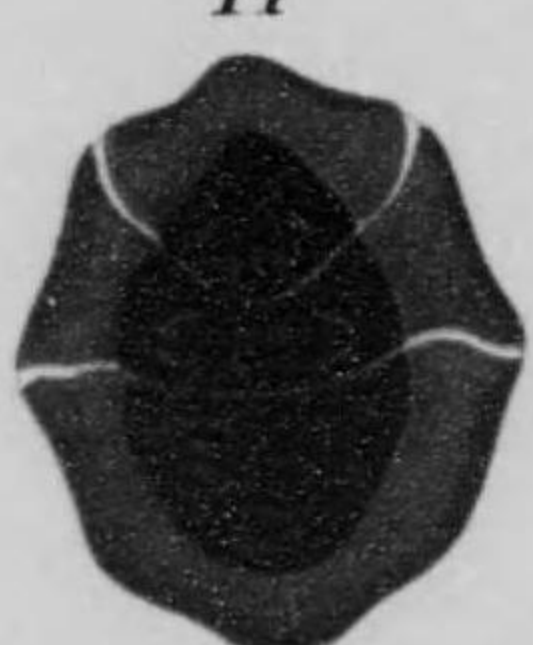
6



4



10



11



8

a.

b.



9



5



2



第十三圖



みかんのひもわたかひがらむし (Takahashia citricola)

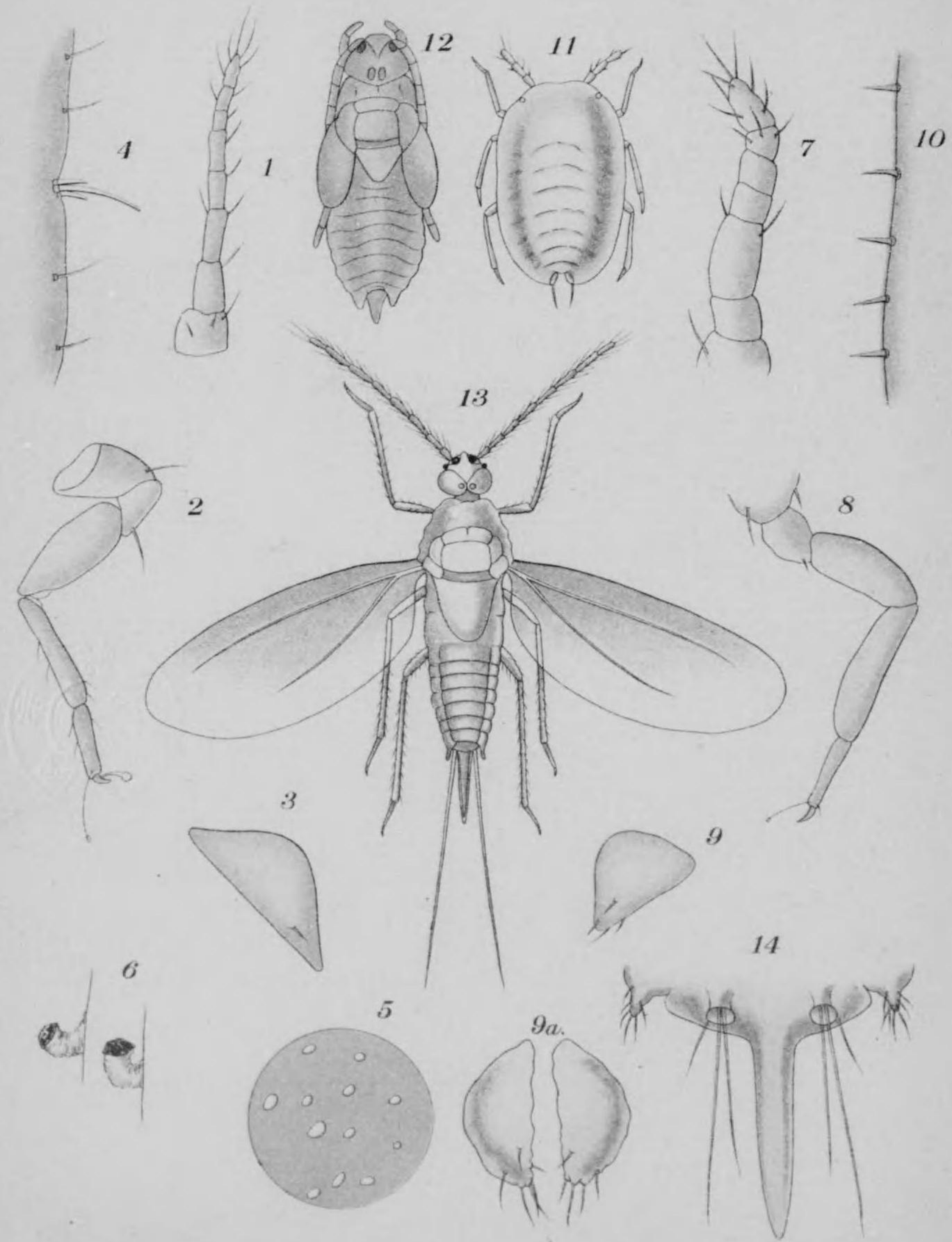
1. 觸角 (雌)
2. 脚 (雌)
3. 三角板 (雌)
4. 體側ノ稜レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
5. 背皮ノ斑紋 (雌)
6. 雌蟲ノ寄主ニ附着セル狀 (自然大)

ひもわたかひがらむし (T. japonica)

7. 觸角 (雌)
8. 脚 (雌)
9. <sup>a</sup>三角板 (雌)
10. 縁毛 (雌)
11. 孵化當時ノ幼蟲
12. 雄蟲ノ頭
13. 雄蟲
14. 雄蟲ノ腹端



圖三十第





第十四圖



つばきのわたかひがらもどき (*Lichtensia japonica*)

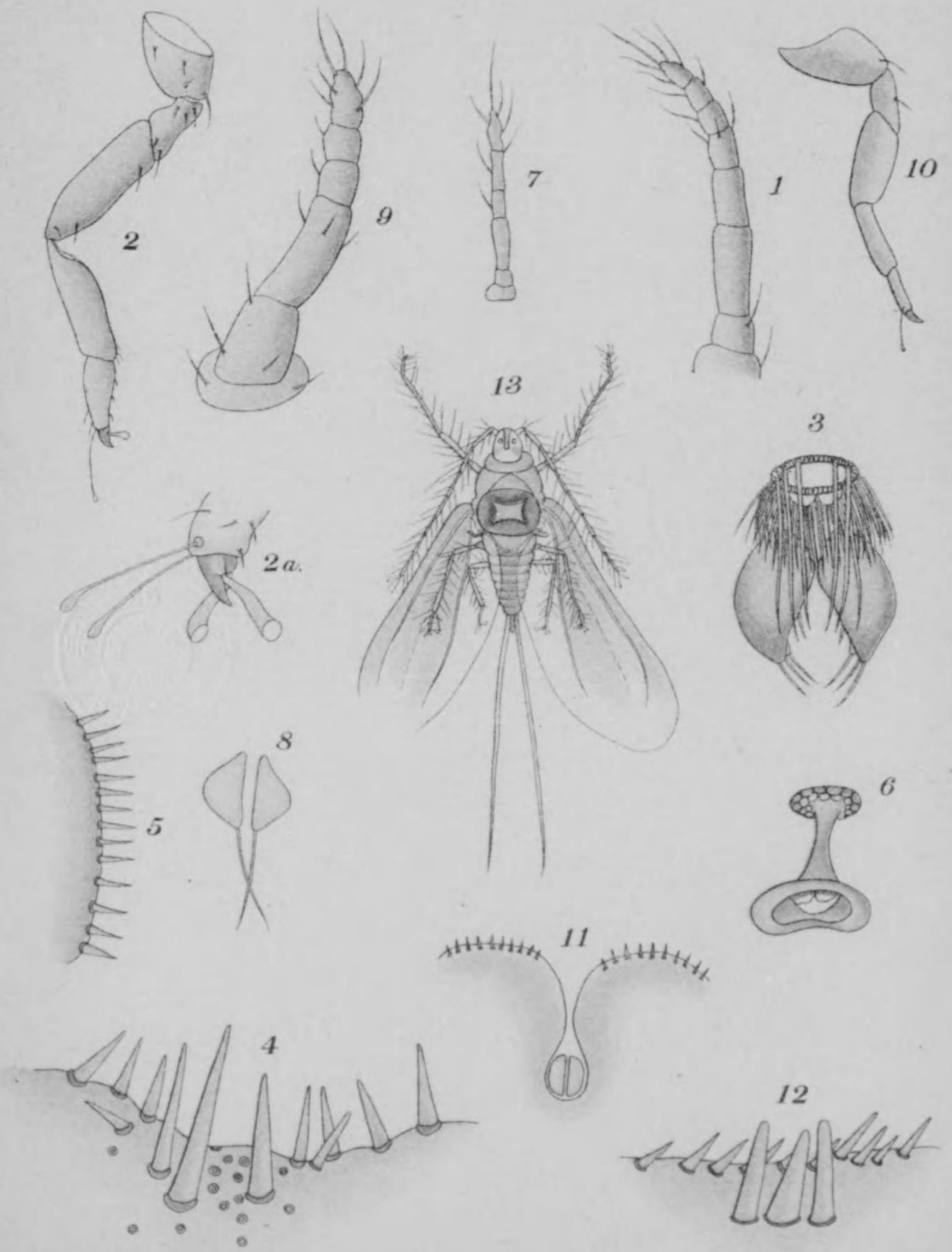
1. 觸角 (雌)
2. 脚 2a. 爪及冠球毛 (雌)
3. 三角板及肛門輪 (雌)
4. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
5. 縁毛 (雌)
6. 氣門 (雌)
7. 孵化當時ノ幼蟲ノ觸角
8. 孵化當時ノ幼蟲ノ三角板

いぼたかひがらむし (*Ericerus pela*)

9. 觸角 (雌)
10. 脚 (雌)
11. 腹端及三角板 (雌)
12. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及縁毛 (雌)
13. 雄蟲



圖 四 十 第





第十五圖



**かめのかふらふむし (Ceroplastes floridensis)**

1. 枝葉 = 寄生セル状 (自然大)

a. 雌蟲

b. 雄蟲

2. 雌蟲 (背面)

3. 雄蟲 (背面)

**つのらふむし (C. cerif ras)**

4. 雌蟲ノ桑ノ枝 = 寄生セル状 (自然大)

5. 雌蟲

**たけのかたかひがらもどき (Aclerda tokionis)**

6. 葉鞘 = テ被ハレタル部分 = 寄生セル状 (自然大)

7. 雌蟲

a. 背面

b. 側面

**ひはこかたかひがらもどき (A. biwakoensis)**

8. 葉鞘 = テ被ハレタル部分 = 寄生セル状 (自然大)

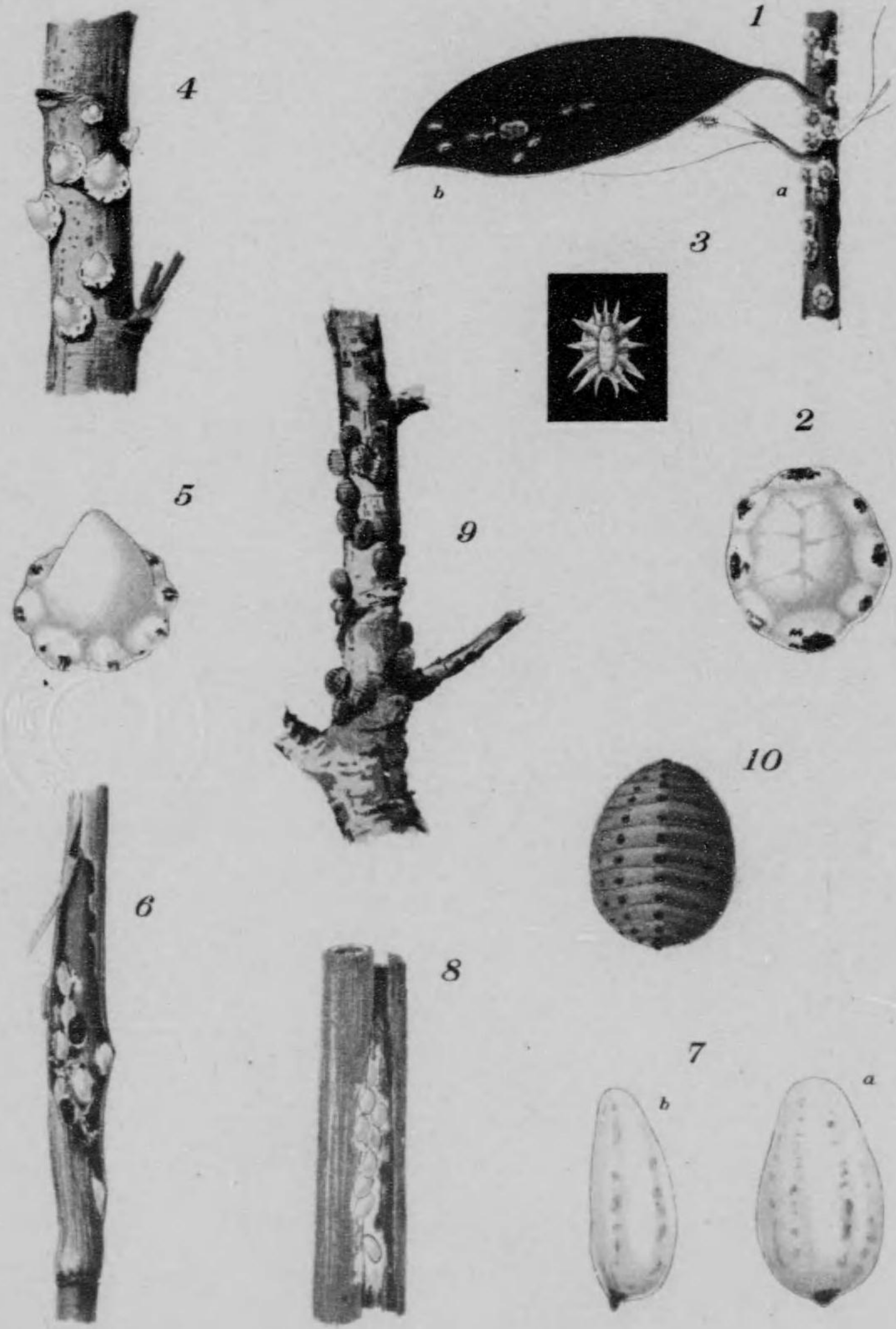
**かしのたまかひがらもどき (Lecanicidiaspis quercus)**

9. 椶ノ枝 = 寄生セル状 (自然大)

10. 雌蟲 (背面)



圖 五 十 第





第  
十  
六  
圖



**るびーらふむし (Ceroplastes rubens)**

1. 觸角 (雌)
2. 體側ノ縱レニ生セル刺毛 (雌)

**かめのかふらふむし (C. floridensis)**

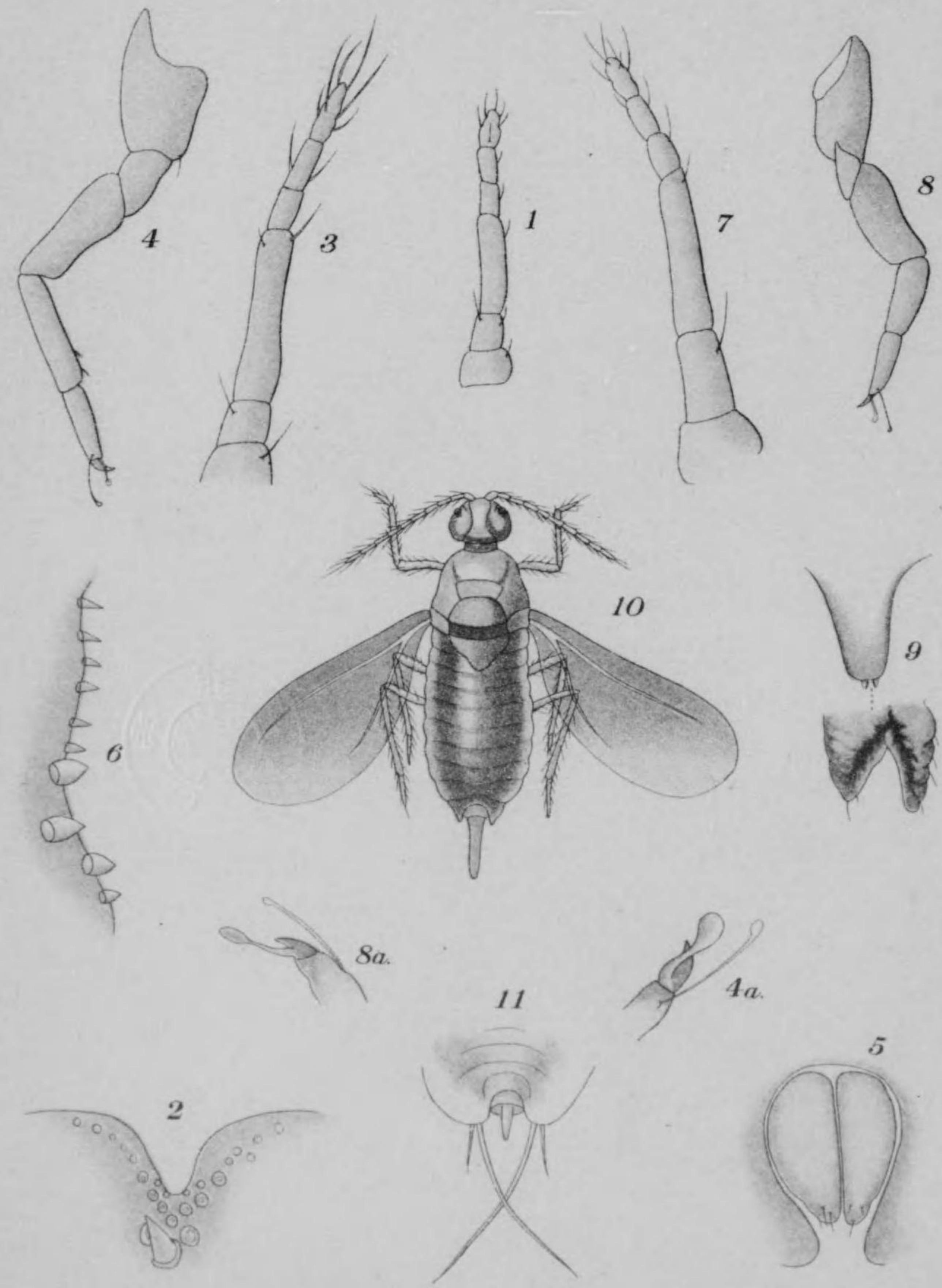
3. 觸角 (雌)
4. 脚 4a. 爪及冠球毛 (雌)
5. 三角板 (雌)
6. 體側ノ縱レニ生セル刺毛及緣毛 (雌)

**つのらふむし (C. ceriferus)**

7. 觸角 (雌)
8. 脚 8a. 爪及冠球毛 (雌)
9. 腹端ノ突起及三角板 (雌)
10. 雄蟲
11. 孵化當時ノ幼蟲ノ腹端



圖六十第





第十七圖



**たけのふさかひがらむし (*Astero'ecanium bambusae*)**

1. 雌蟲ノ竹ニ寄生セル狀 (自然大)
2. 雌蟲 (腹面)

**しひのふさかひがらむし (*A. pasaniae*)**

3. 雌蟲ノ葉ニ寄生セル狀 (自然大)
4. 雌蟲 (背面)

**ならのふさかひがらむし (*A. variolosum* var. *japonicum*)**

5. 雌蟲ノ枝ニ寄生セル狀 (自然大)
6. 雌蟲 (背面)

**ふぢつほかひがらむし (*Cerozo'eus muratae*)**

7. 雌蟲ノ珊瑚樹ノ枝ニ寄生セル狀 (自然大)
8. 雌蟲 (背面)

**ならのたまかひがらむし (*Kermes nakagawae*)**

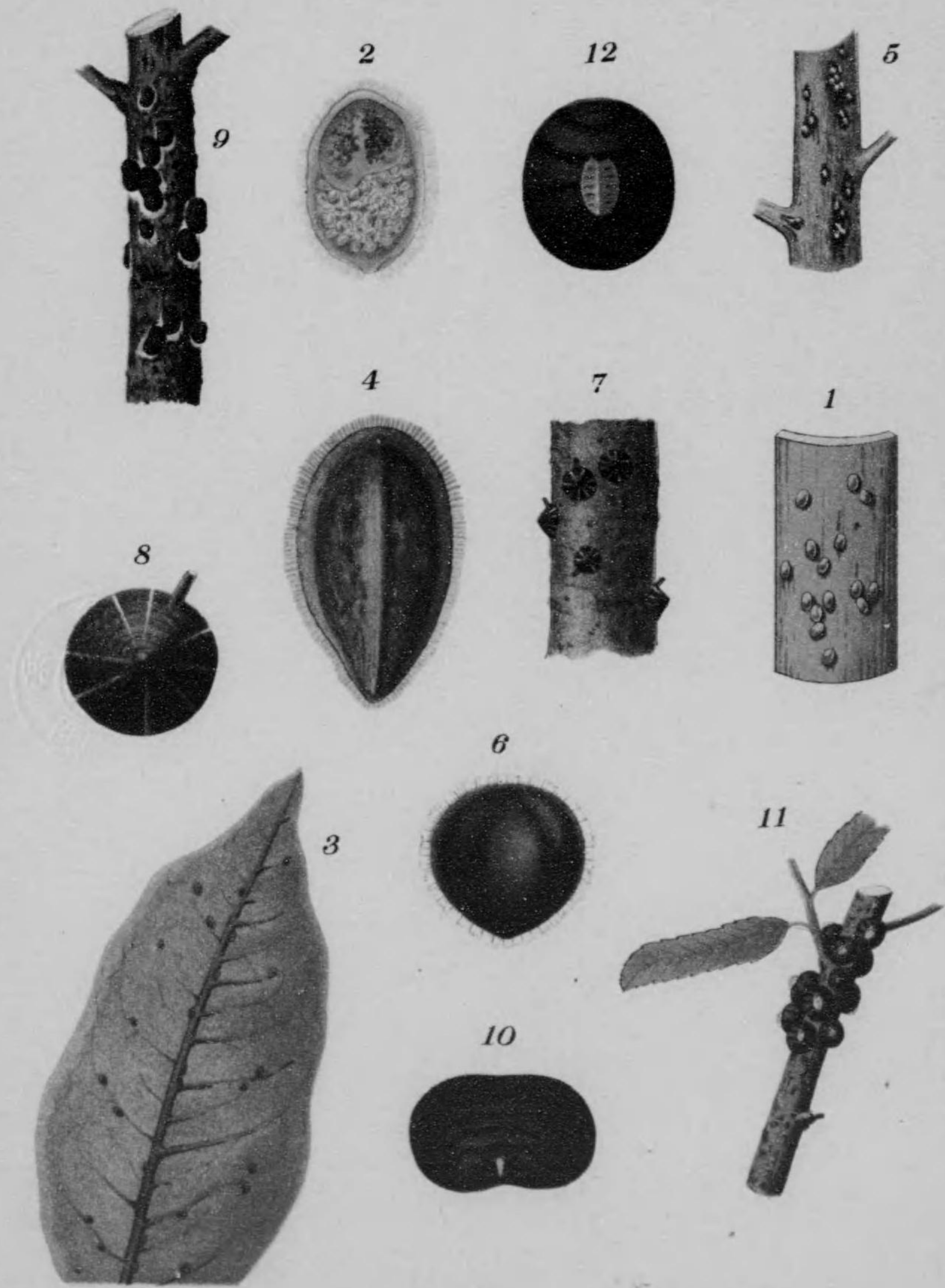
9. 雌蟲ノ枝ニ寄生セル狀 (自然大)
10. 雌蟲 (背面)

**ひめたまかひがらむし (*K. miyasakii*)**

11. 雌蟲ノ樺ノ枝ニ寄生セル狀 (自然大)
12. 雌蟲 (背面)



圖七十第





第十八圖



**たけのかたかひがらもどき (AclerJa tokionis)**

1. 觸角 (雌)
2. 腹端 (雌)
3. 擬寶珠状ノ縁毛 (雌)
4. 孵化當時ノ幼蟲
5. 孵化當時ノ幼蟲ノ觸角
6. 孵化當時ノ幼蟲ノ脚
7. 孵化當時ノ幼蟲ノ腹端

**びはこかたかひがらもどき (A. biwakoensis)**

8. 雌蟲
9. 腹端 (雌)
10. 擬寶珠状ノ縁毛 (雌)
11. 腹端ノ一部 (雌)

**かしのたまかひがらもどき (Lecaniodiaspis quercus)**

12. 觸角 (雌)
13. 腹端 (雌)

**たけのふさかひがらむし (Asterolecanium bambusae)**

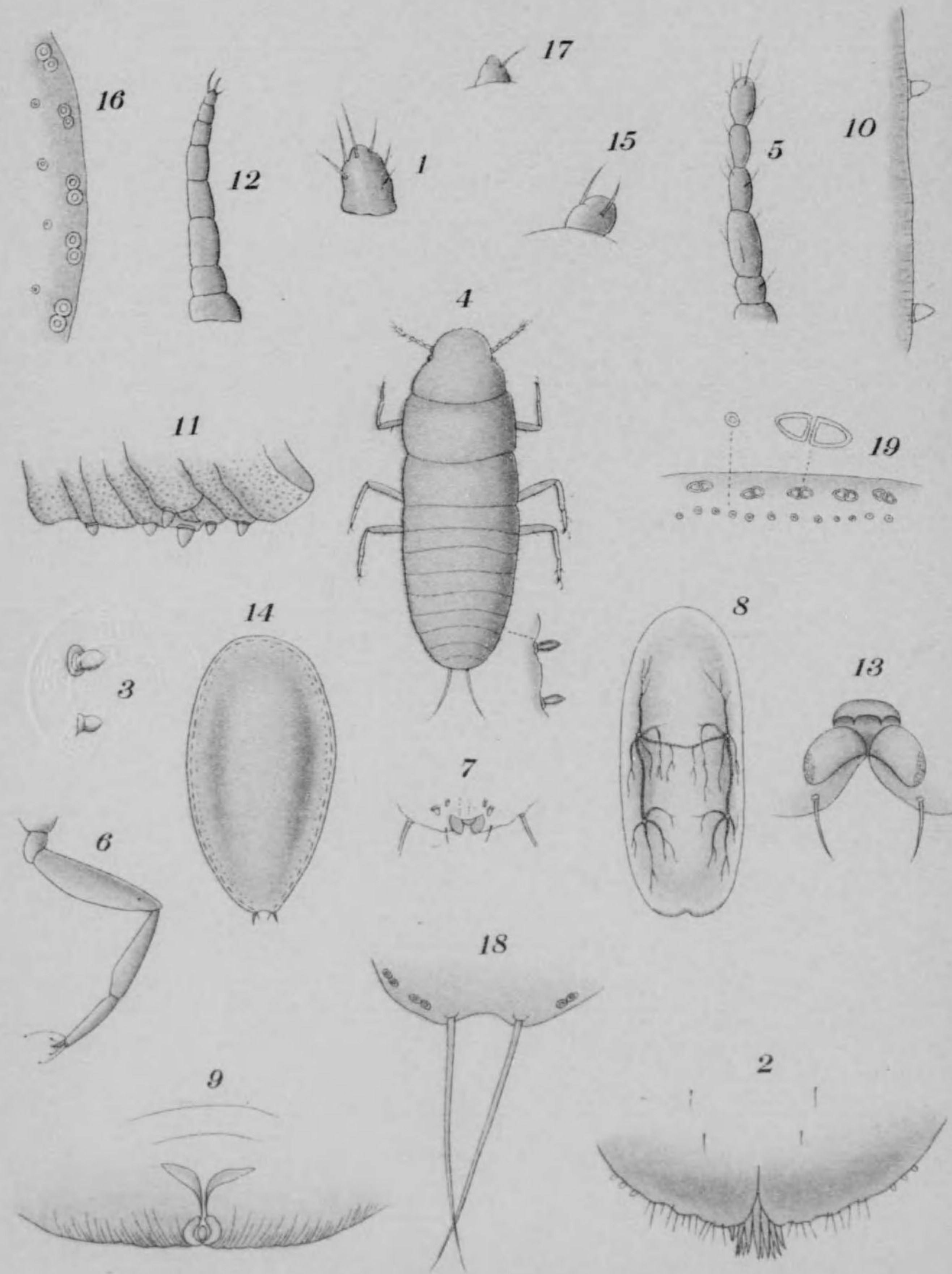
14. 雌蟲
15. 觸角 (雌)
16. 八字形ノ分泌窩 (雌)

**しひのふさかひがらむし (A. pasaniae)**

17. 觸角 (雌)
18. 腹端 (雌)
19. 八字形ノ分泌窩 (雌)



圖 八 十 第





第  
十  
九  
圖



**ふぢつほかひがらむし (Cerococcus mura'ae)**

1. 觸角 (雌)
2. 腹端 (雌)
3. 孵化當時ノ幼蟲 (背面)
4. 孵化當時ノ幼蟲ノ觸角
5. 孵化當時ノ幼蟲ノ脚

**なわたまかひがらむし (Kermes nawae)**

6. 觸角 (雌)
7. 脚 (雌)

**ならのたまかひがらむし (K. nakagawae)**

8. 觸角 (雌)
9. 脚 9a. 爪及冠球毛 (雌)
10. 背皮ノ斑紋 (雌)
11. 孵化當時ノ幼蟲

**ひめたまかひがらむし (K. miyasakii)**

12. 觸角 (雌)
13. 脚 (雌)

**おほたまかひがらむし (K. vastus)**

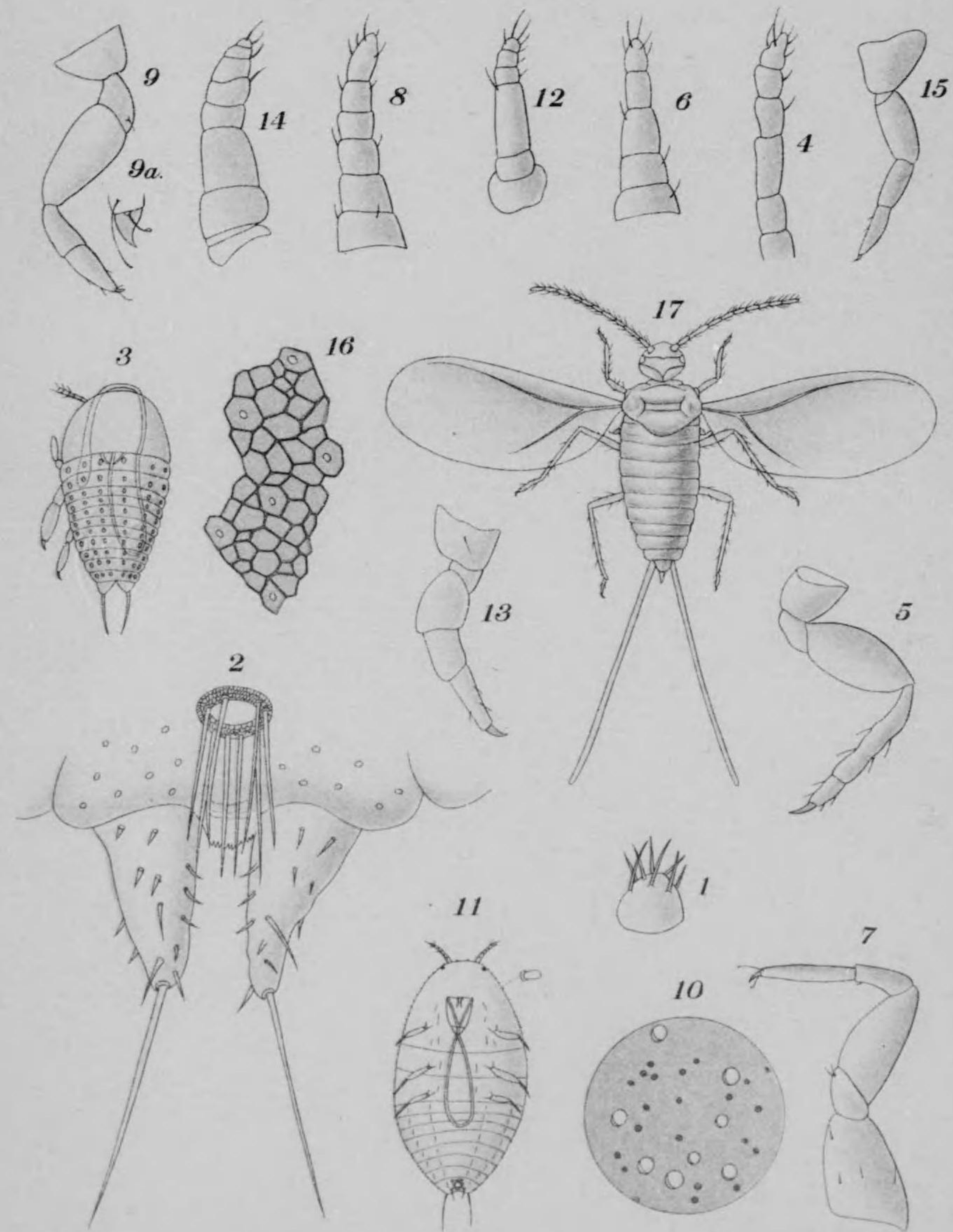
14. 觸角 (雌)
15. 脚 (雌)
16. 背皮ノ斑紋 (雌)

**にれのふくろかひがらもどき (Gossyparia spuria)**

17. 雄蟲



圖九十第





第  
二  
十  
圖



**おほたまかひがらむし (Kermes vastus)**

1. 雌蟲ノ枝ニ寄生セル狀 (自然大)
2. 雌蟲 (背面)

**にれのふくろかひがらもどき (Gossyparia spuria)**

3. 枝ニ寄生スル狀 (自然大)
  - a. 雌蟲
  - b. 雄蟲ノ蛹
4. 雌蟲ノ白色蠟質物ニテ包圍セラレタル狀
5. 雌蟲 (背面)

**たけのふくろかひがらむし (Eriococcus oukii)**

6. 雌蟲ノ竹ニ寄生セル狀 (自然大)
7. 雌蟲 (背面)

**さるすべりのふくろかひがらむし (E. lagerstroemiae)**

8. 雌蟲ノ百日紅ノ枝ニ寄生セル狀 (自然大)
9. 雌蟲 (背面)

**ながをこなかひがらむし (Dactylopius longispinus)**

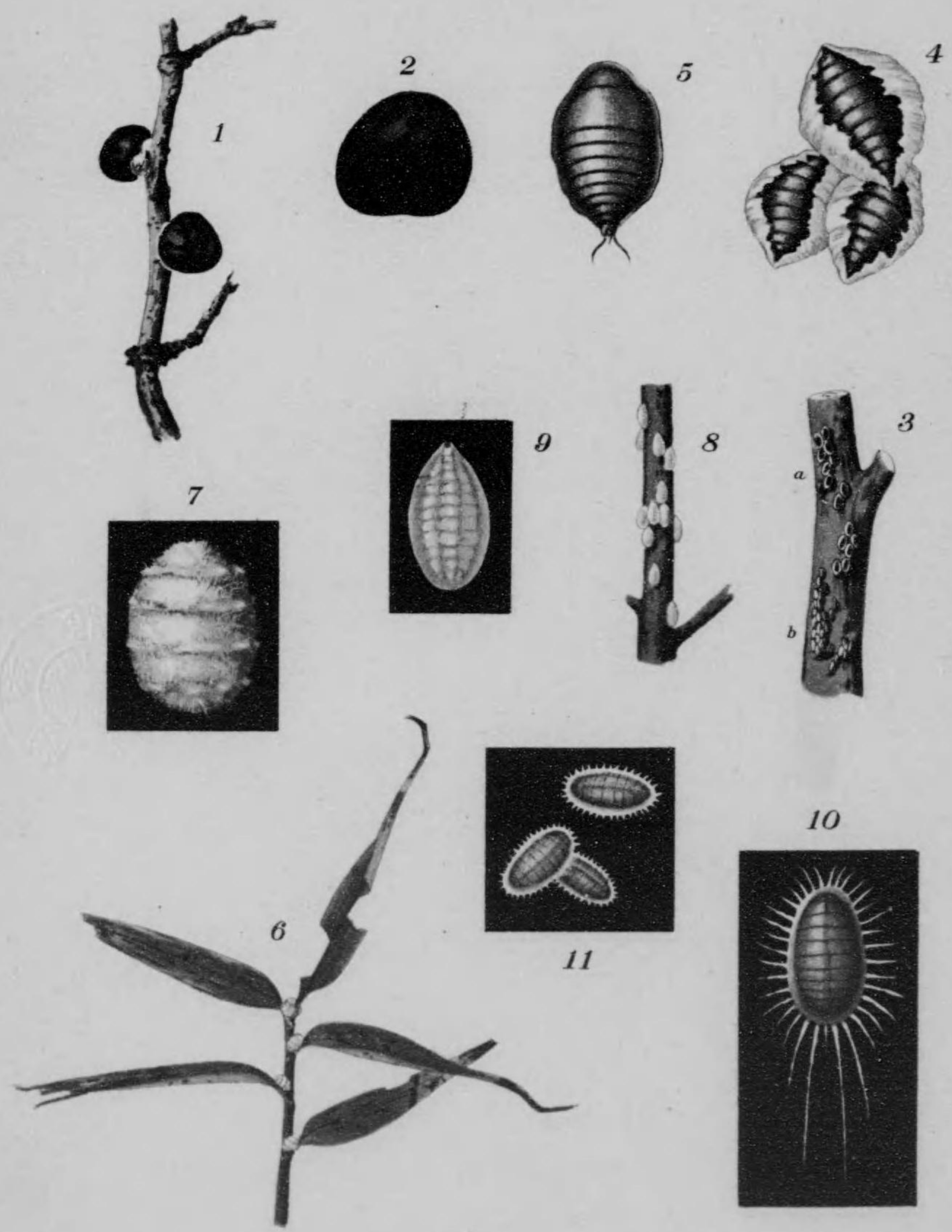
10. 雌蟲 (背面)

**みかんのこなかひがらむし (D. citri)**

11. 雌蟲 (背面)



圖 十 二 第





第二十一圖



**たけのふくろかひらがむし (Eriococcus onukii)**

1. 觸角 (雌)
2. 脚 (雌)
3. 背皮ノ刺毛 (雌)
4. 肛門輪 (雌)

**とほしがらのふくろかひがらむし (E. festucae)**

5. 5a. 觸角 (雌)
6. 縁毛 (雌)

**さるすべりのふくろかひがらむし (E. lagerstroemiae)**

7. 觸角 (雌)
8. 脚 (雌)
9. 背皮ノ刺毛 (雌)
10. 腹部ノ末端 (雌)

**きふくろかひがらむし (E. japonicus)**

11. 觸角 (雌)

**ながをこなかひがらむし (Dactylopius longispinus)**

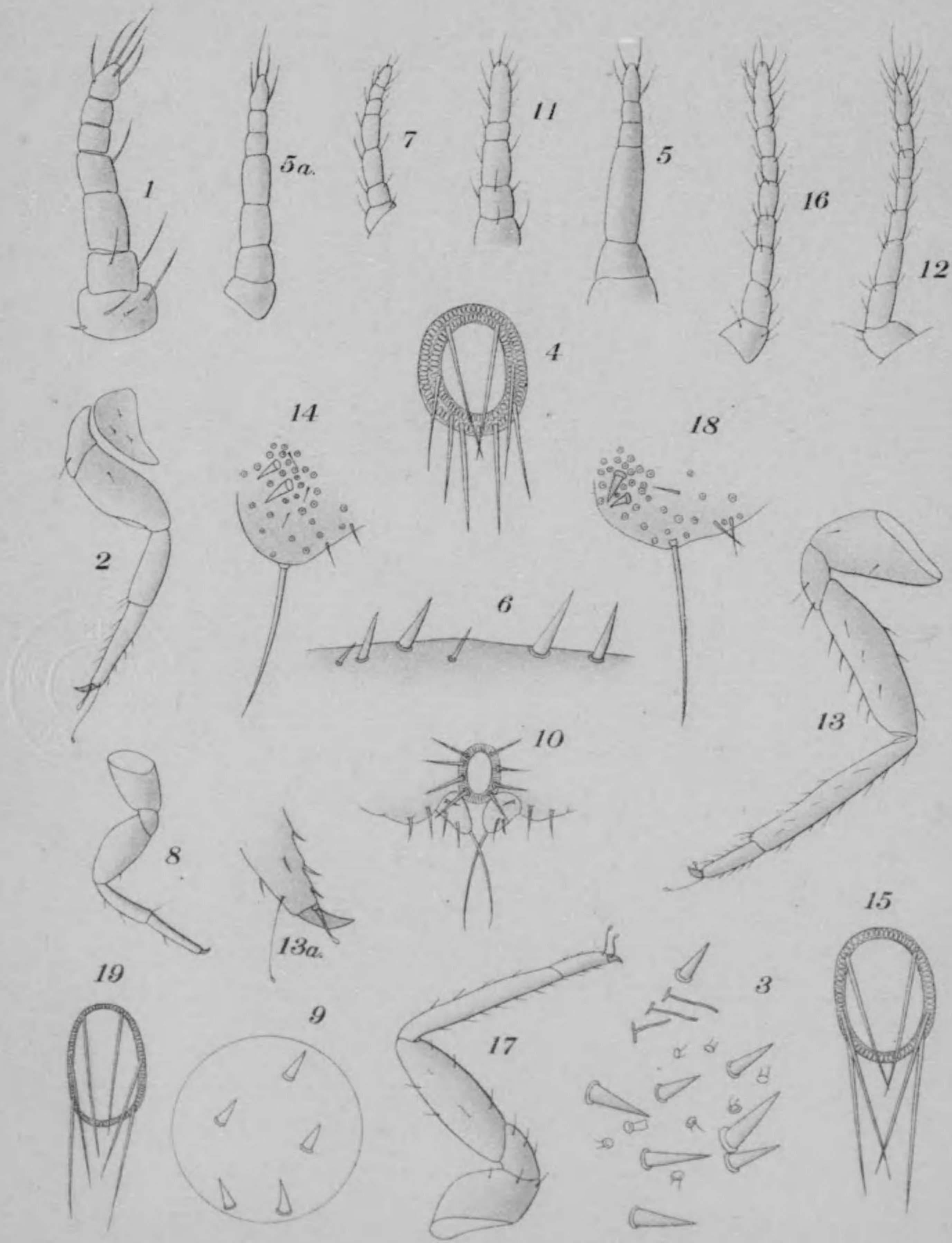
12. 觸角 (雌)
13. 脚 13a. 爪及冠球毛 (雌)
14. 腹葉 (雌)
15. 肛門輪 (雌)

**みかんのこなかひがらむし (D. citri)**

16. 觸角 (雌)
17. 脚 (雌)
18. 腹葉 (雌)
19. 肛門輪 (雌)



圖一十二第





第二十二圖



くはのこなかひがらむし (*Dactylopius comstockii*)

1. 觸角 (雌)
2. 脚 (雌)

まつのこなかひがらむし (*D. pini*)

3. 觸角 (雌)
4. 脚 (雌)
5. 腹葉 (雌)

ふぢのこなかひがらむし (*D. kraunhiae*)

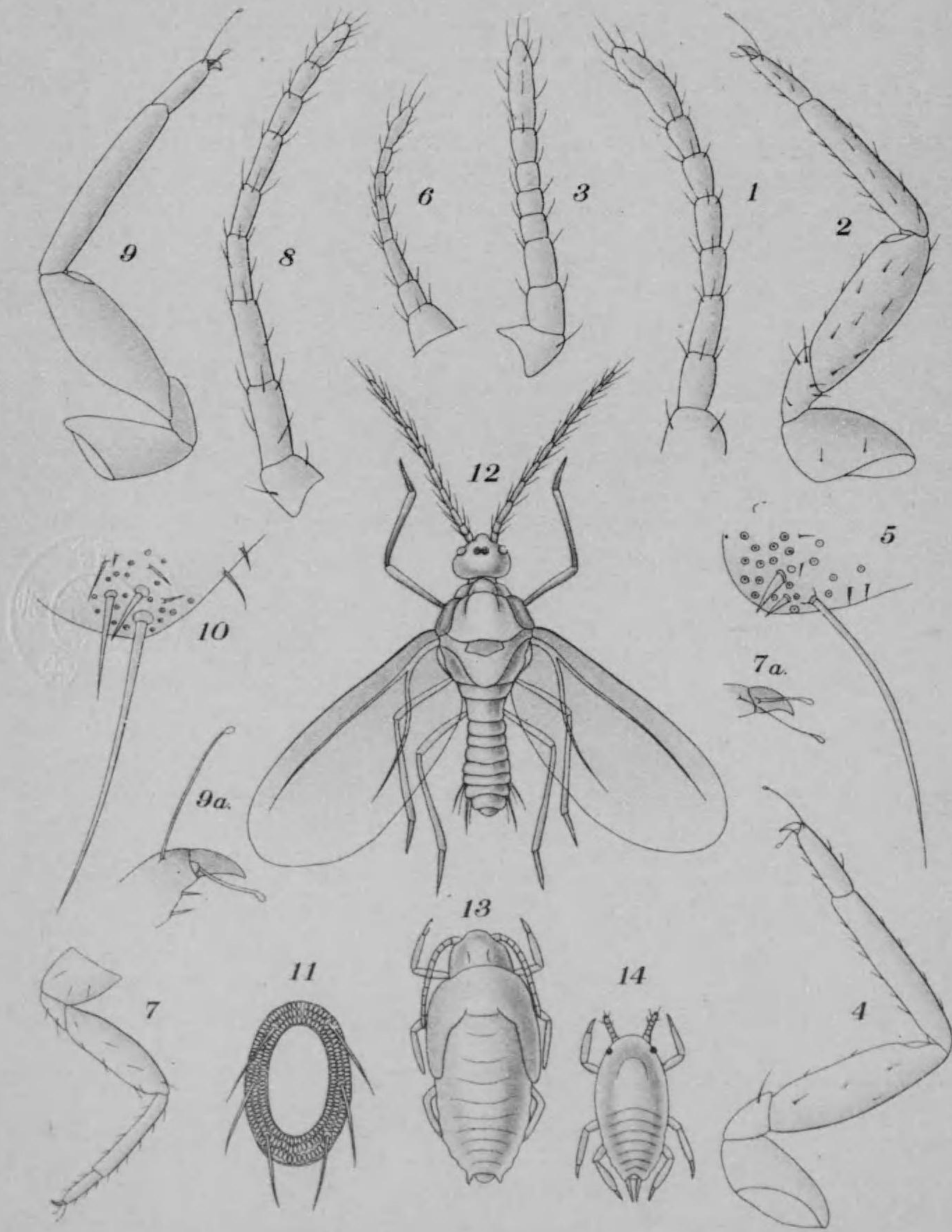
6. 觸角 (雌)
7. 脚 7a. 爪及冠球毛 (雌)

おぼわたかひがらもどき (*Phenacoccus pergandei*)

8. 觸角 (雌)
9. 脚 9a. 爪及冠球毛 (雌)
10. 腹葉 (雌)
11. 肛門輪 (雌)
12. 雄蟲
13. 蛹 (雌)
14. 孵化當時ノ幼蟲



圖二十二第





第二十三圖



**おほわたかひがらもどき (Phenacoccus pergam lei)**

1. 雌蟲ノ桑ノ枝及葉ニ寄生セル狀 (自然大)
  - a. 卵囊ヲ有セサルモノ
  - b. 卵囊ヲ有セルモノ

2. 雌蟲 (卵囊ヲ有セサルモノ)

**ひめわたかひがらもどき (P. azaleae)**

3. 雌蟲ノ躑躅ノ葉ニ寄生セル狀 (自然大)
4. 雌蟲 (卵囊ヲ有セサルモノ)
5. 同上 (卵囊ヲ有セルモノ)

**たけのわたかひがらもどき (P. takae)**

6. 雌蟲ノ竹ニ寄生セル狀 (自然大)
7. 雌蟲 (背面)

**さくらのあかかひがらむし (Sphaerococcus parvus)**

8. 雌蟲ノ櫻ノ樹皮ニ寄生セル狀 (自然大)

**たけのしろをかひがらむし (Antonina crawii)**

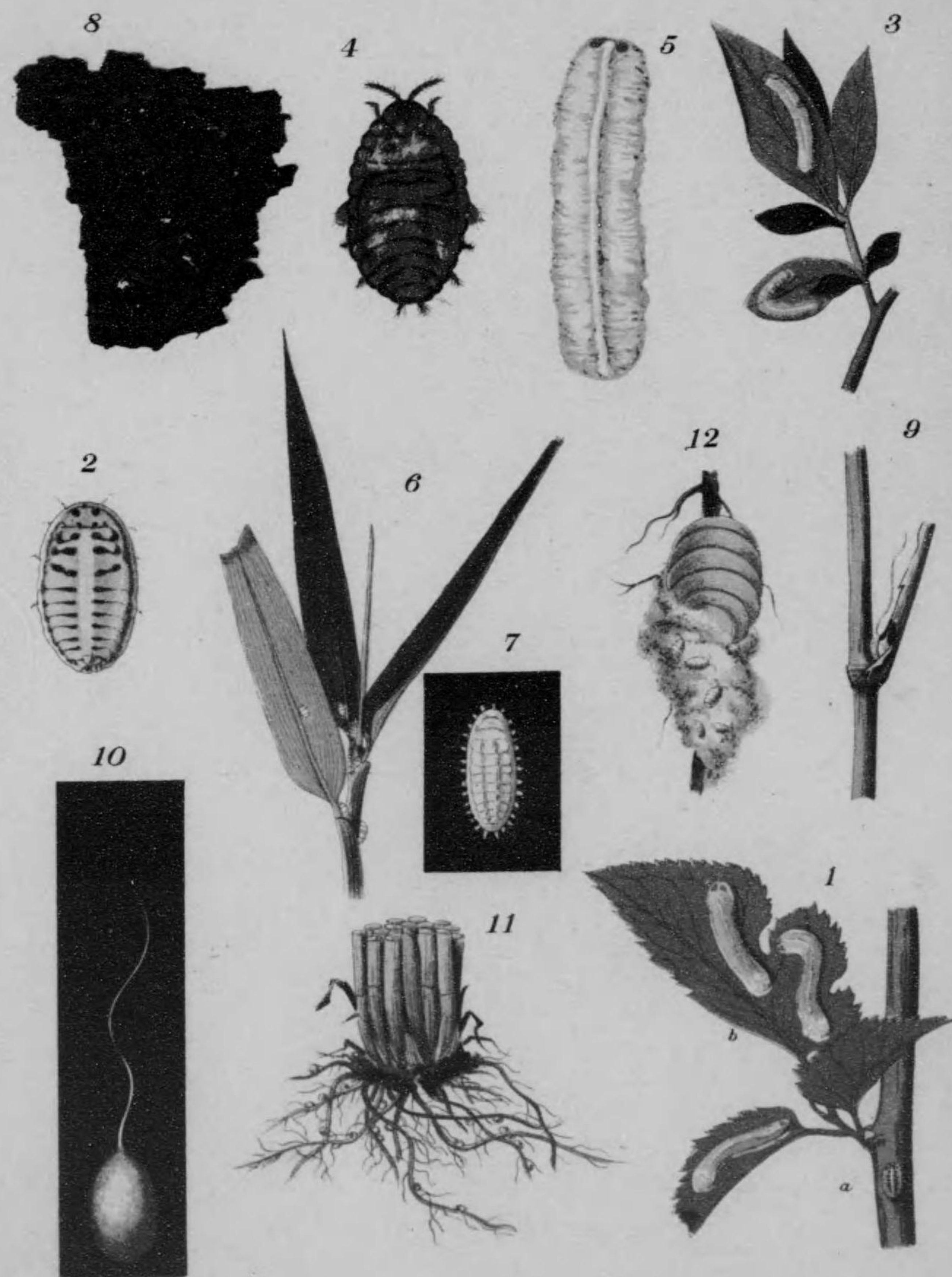
9. 雌蟲ノ竹ノ葉鞘内ニ寄生セル狀 (自然大)
10. 雌蟲

**いねのこなかひがらもどき (Ripersia oryzae)**

11. 雌蟲ノ陸稻ノ根部ニ寄生セル狀 (自然大)
12. 雌蟲 (背面)



圖三十二第





第二十四圖



ひめわたかひがらもどき (*Pleurococcus azaleae*)

1. 觸角 (雌)
2. 脚 2a. 爪及冠球毛 (雌)
3. 腹葉 (雌)
4. 肛門輪 (雌)

たけのわたかひがらもどき (*P. takeae*)

5. 5a. 觸角 (雌)
6. 脚 (雌)
7. 腹葉 (雌)

さくらのあかかひがらむし (*Sphaerococcus parvus*)

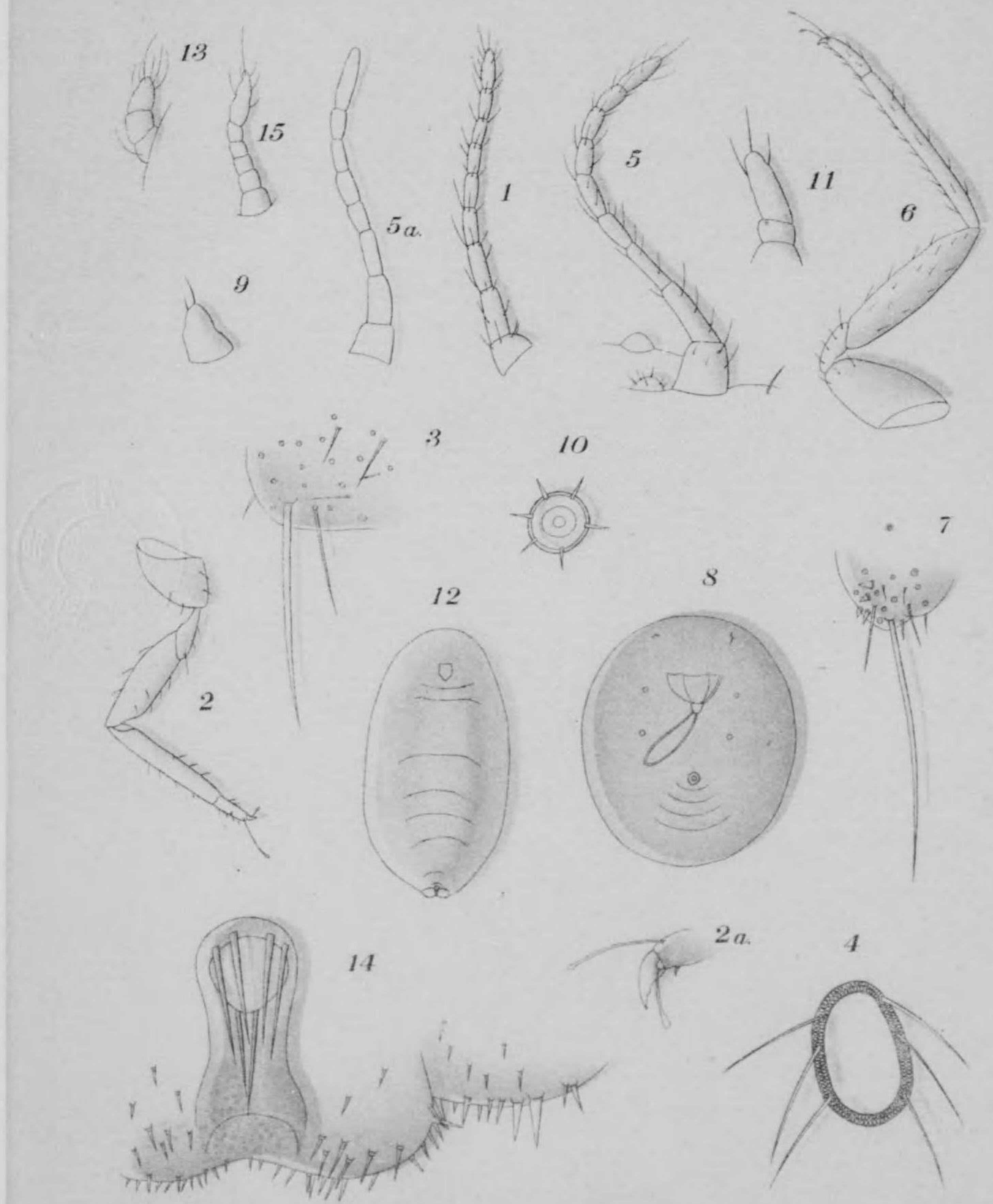
8. 雌蟲 (腹面)
9. 觸角 (雌)
10. 肛門輪 (雌)
11. 孵化當時ノ幼蟲ノ觸角

たけのしろをかひがらむし (*Antonina crawii*)

12. 雌蟲 (腹面)
13. 觸角 (雌)
14. 雌蟲ノ腹端
15. 孵化當時ノ幼蟲ノ觸角



圖四十二第





第二十五圖



**かしのあかかひがらもどき (*Kuwanina quercus*)**

1. 雌蟲ノ樹皮ニ寄生セル狀 (自然大)
2. 雌蟲 (背面)

**まつむらかひがらむし (*Matsucoccus matsumurae*)**

3. 雌蟲ノ樹皮ニ寄生セル狀 (自然大)
4. 雌蟲 (背面)

**かぶらかひがらむし (*Xylococcus napiformis*)**

5. 雌蟲ノ樫ノ枝ニ寄生セル狀 (自然大)
6. 雌蟲
7. 雌蟲ノ腹端

**わたふきかひがらむし (*Icerya purchasi*)**

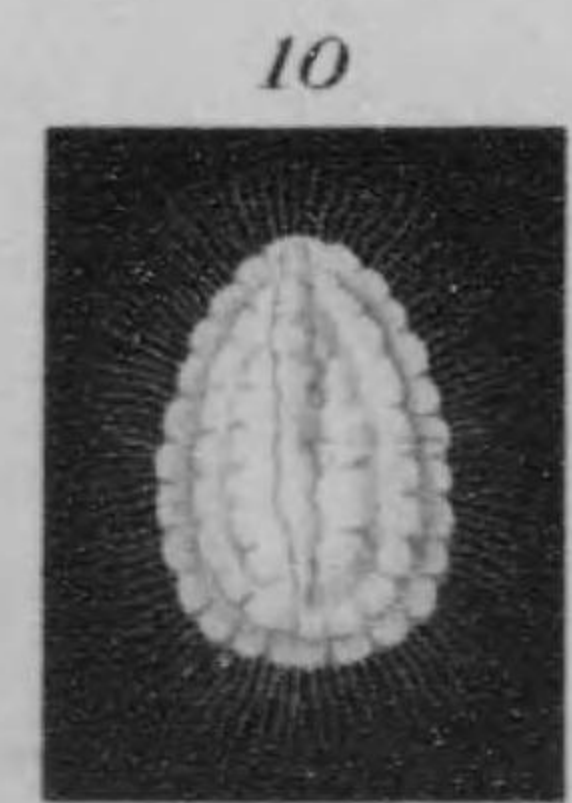
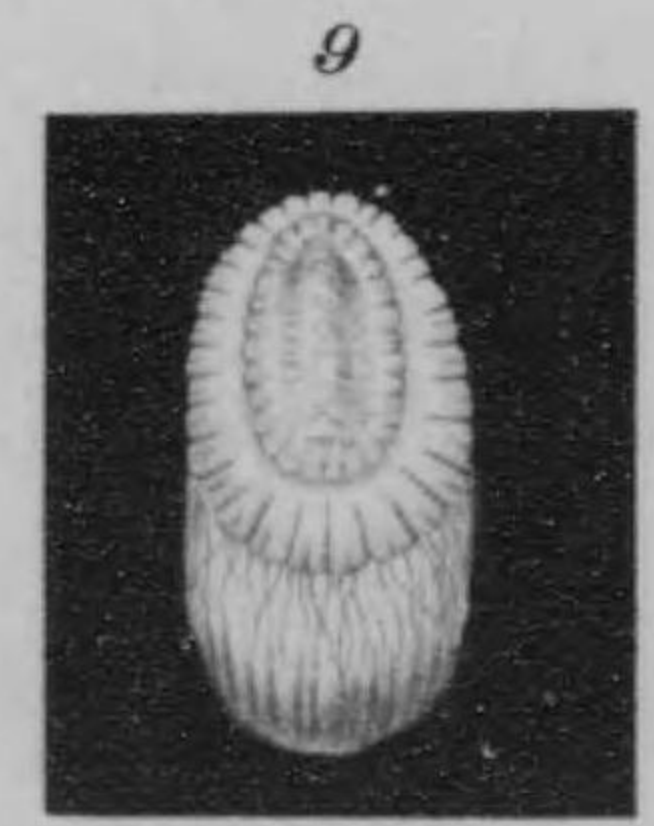
8. 雌蟲ノ柑橘ノ枝ニ寄生セル狀 (自然大)

**おかだわたふきかひがらむし (*I. seychellarum*)**

9. 雌蟲 (卵囊ヲ有セルモノ)
10. 未熟ノ雌蟲



圖五十二第





第二十六圖



かやのこなかひがらもどき (*Ripersia japonica*)

1. 觸角 (雌)
2. 脚 (雌)
3. 雌蟲ノ腹端

いねのこなかひがらもどき (*R. oryzae*)

4. 雌蟲 (腹面)
5. 觸角 (雌)
6. 脚 (雌)
7. 雌蟲ノ腹端

かしのあかかひがらもどき (*Kuwania quercus*)

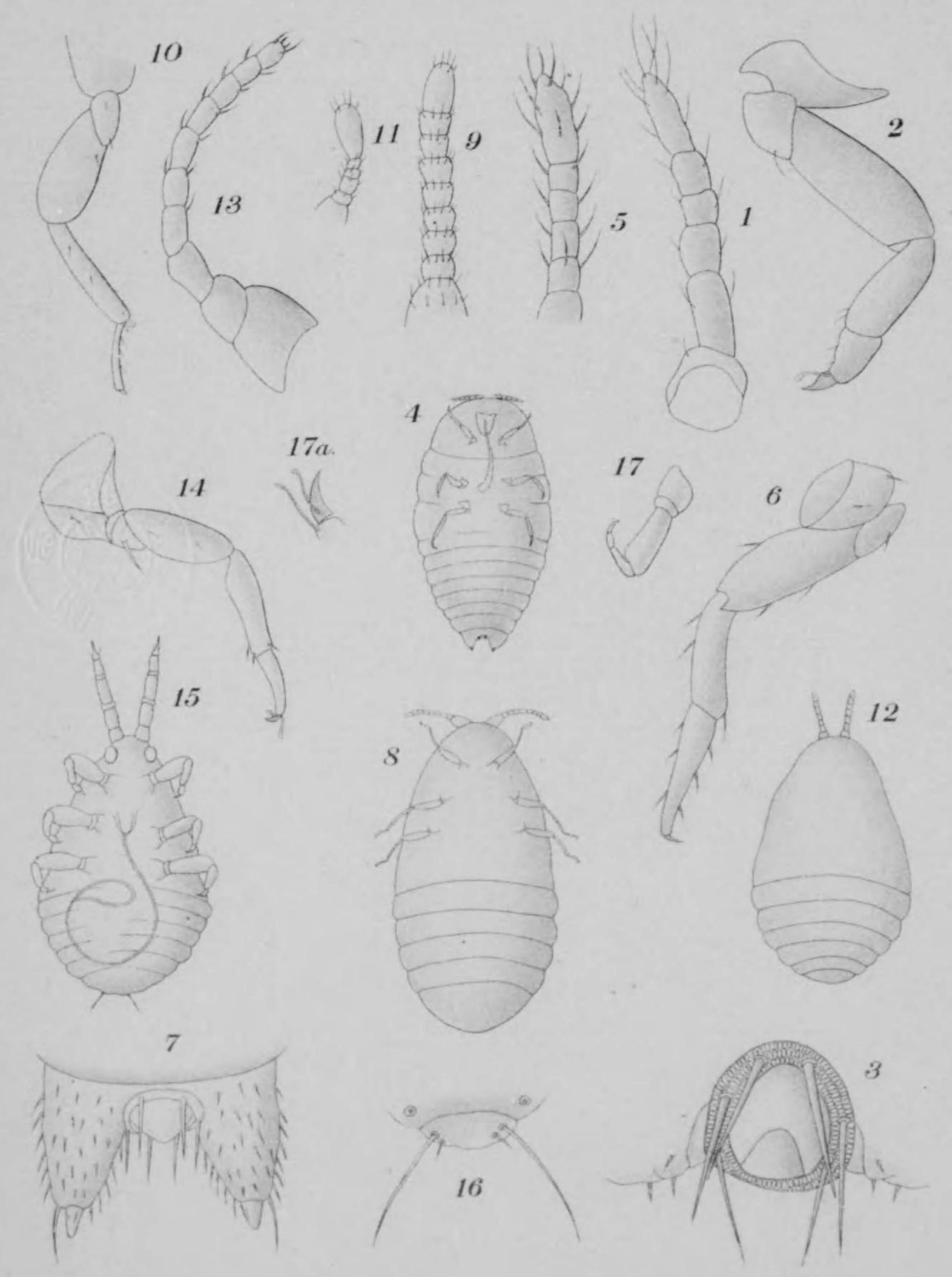
8. 雌蟲 (腹面)
9. 觸角 (雌)
10. 脚 (雌)
11. 孵化當時ノ幼蟲ノ觸角

まつむらかひがらむし (*Matsucoccus matsumurae*)

12. 雌蟲 (背面)
13. 觸角 (雌)
14. 脚 (雌)
15. 孵化當時ノ幼蟲 (腹面)
16. 孵化當時ノ幼蟲ノ腹端
17. 孵化當時ノ幼蟲ノ脚 17a. 爪及冠球毛



圖六十二第





第二十七圖



**おほわらぢかひがらむし (Monophlebus corpulentus)**

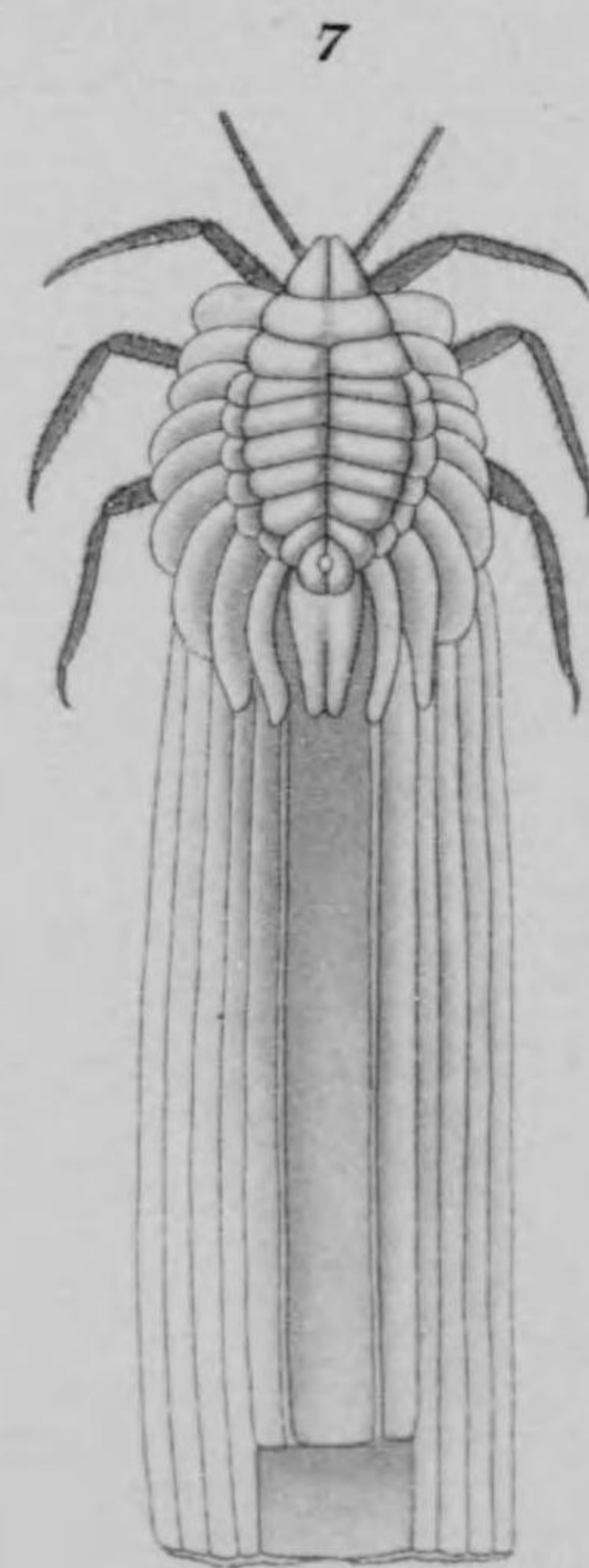
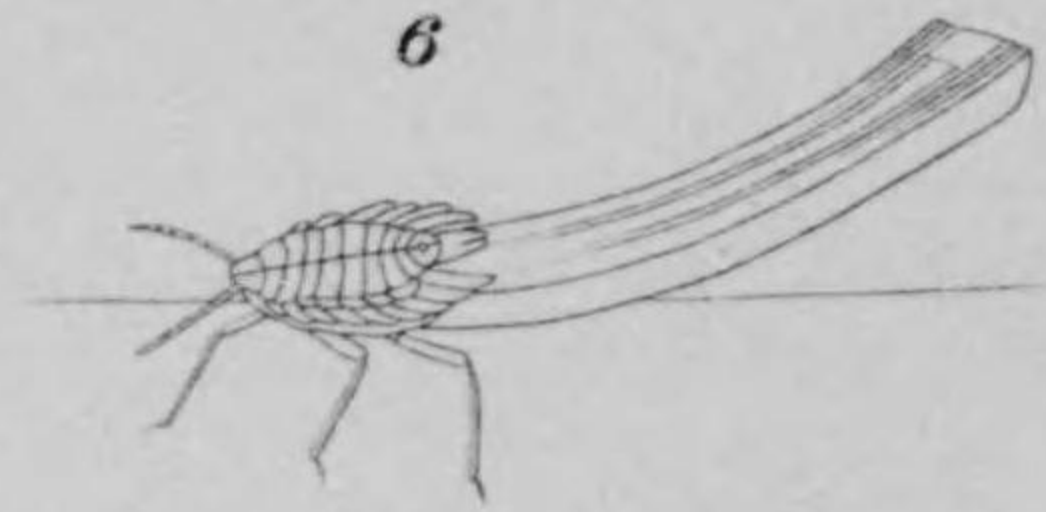
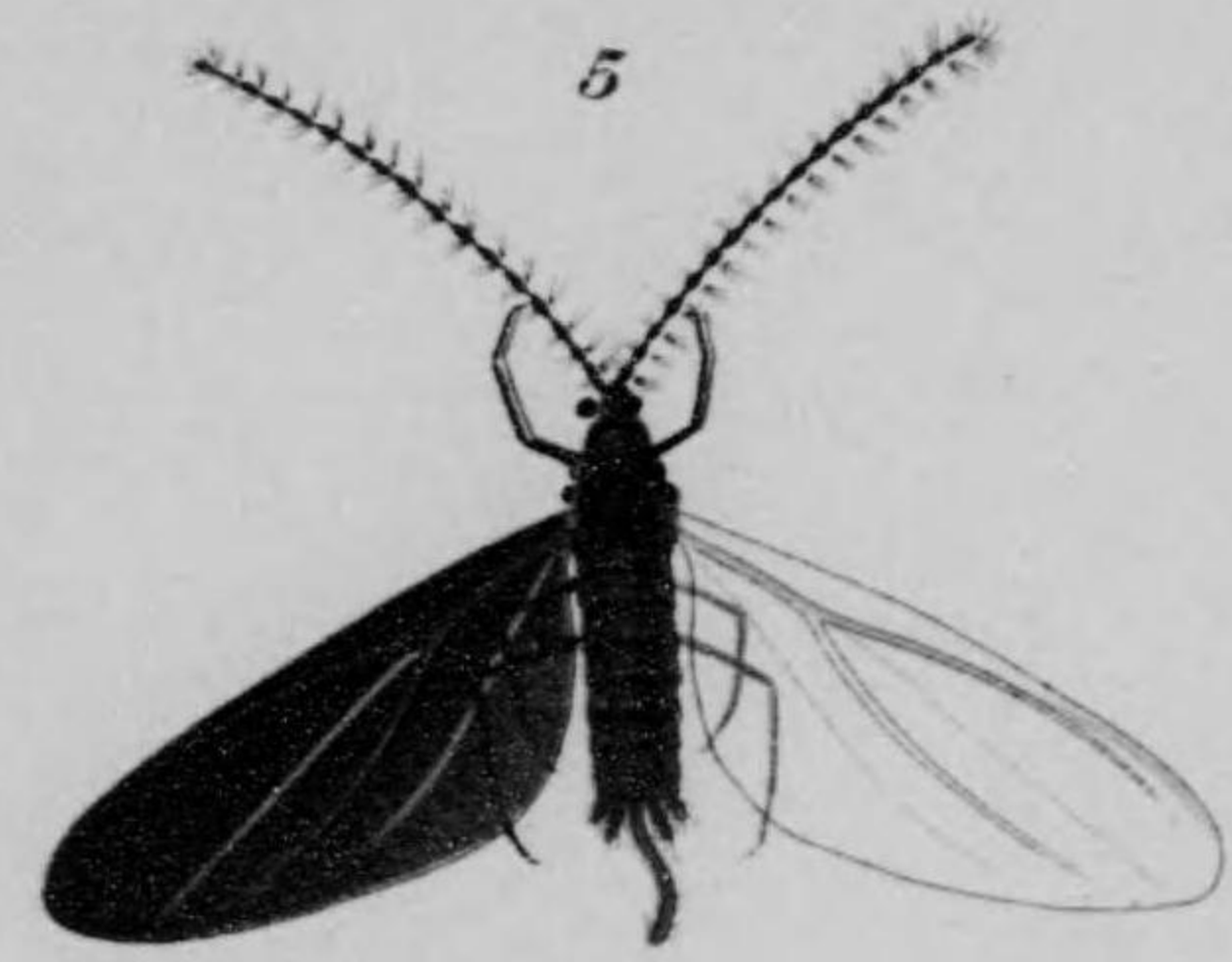
1. 雌蟲ノ樹皮ニ寄生セル狀 (自然大)
2. 雌蟲 (背面)
3. 雌蟲 (腹面)
4. 雌蟲 (卵囊ヲ有セルモノ)
5. 雄蟲 (背面)

**せきかうかひがらむし (Orthezia japonica)**

6. 雌蟲ノ卵囊ヲ有セルモノ (側面)
7. 雌蟲 (背面)



圖七十二第





第二十八圖



**わたふきかひがらむし (Icerya purchasi)**

1. 觸角 (雌)
2. 雌蟲ノ觸角 (第三齡)
3. 雌蟲 (第二齡)
4. 雌蟲 (第一齡)

**おかたわたふきかひがらむし (I. seychellarum)**

5. 觸角 (雌)
6. 脚 6a. 爪及刺毛 (雌)
7. 雌蟲ノ背面ノ圓形分泌窩
8. 孵化當時ノ幼蟲 (腹面)
9. 孵化當時ノ幼蟲ノ觸角

**おほわらぢかひがらむし (Monophlebus corpulentus)**

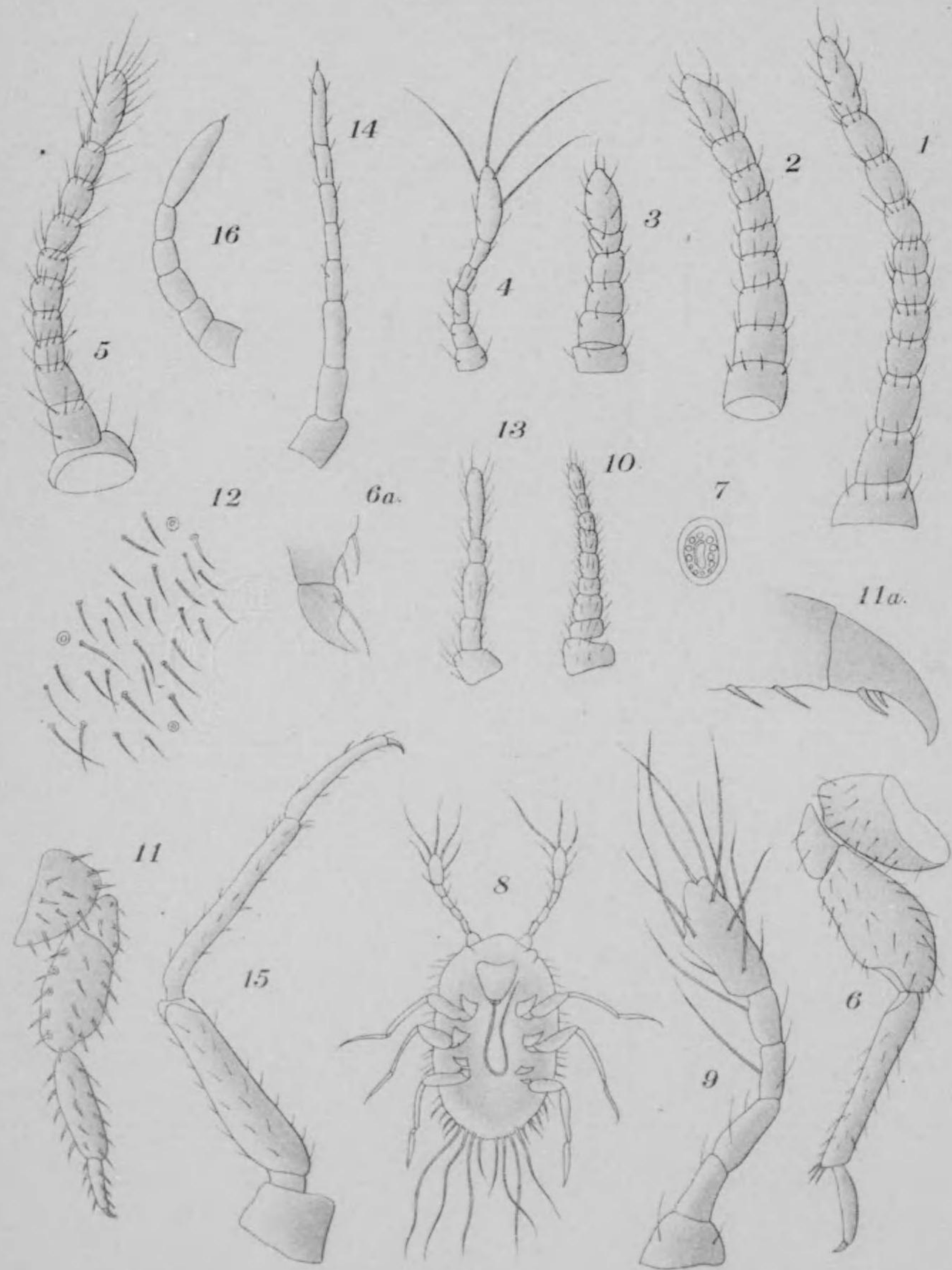
10. 觸角 (雌)
11. 脚 11a. 爪及刺毛 (雌)
12. 背皮ノ刺毛 (雌)
13. 孵化當時ノ幼蟲ノ觸角

**せきからかひがらむし (Orthezia japonica)**

14. 觸角 (雌)
15. 脚 (雌)
16. 孵化當時ノ幼蟲ノ觸角



圖八十二第





日本介殼蟲圖說索引

和名索引

い いぎりのわたかひがらむし……………三八頁  
 いぼたかひがらむし……………六一  
 いねのこなかひがらむし……………一三〇  
 にれのふくろかひがらむし……………九六  
 にしがはらかたかひがらむし……………一二  
 と ぼしがらのふくろかひがらむし……………一〇一  
 る ゐびらふむし……………六五  
 を(お)  
 おほわたかひがらむし……………一一七  
 おほわらぢかひがらむし……………一五一  
 おほかたかひがらむし……………九四  
 おほたまかひがらむし……………九四  
 おりぶのかたかひがらむし……………六  
 をかだわたふきかひがらむし……………一四八  
 おきつわたかひがらむし……………四九  
 わ わたふきかひがらむし……………一四二  
 か かやのこなかひがらむし……………一二九

かぶらかひがらむし……………一三九  
 かめのかぶらふむし……………六七  
 かしあかかひがらむし……………一三四  
 かしたまかひがらむし……………七九  
 かんきつのかたかひがらむし……………二二  
 た たかちほかたかひがらむし……………二一  
 たまたかかひがらむし……………九  
 たけのわたかひがらむし……………一二二  
 たけのかたかひがらむし……………七四  
 たけのふくろかひがらむし……………九六  
 たけのふきかひがらむし……………八一  
 たけのしろをかひがらむし……………一二七  
 つ つばきのわたかひがらむし……………四五  
 つばきのわたかひがらむし……………五八  
 つのらふむし……………七〇  
 な なわたまかひがらむし……………八九  
 ながをこなかひがらむし……………一〇八  
 ながわたかひがらむし……………五一  
 ながかたかひがらむし……………一六  
 ならのたまかひがらむし……………九一  
 ならのふきかひがらむし……………八四  
 う うしろのわたかひがらむし……………三七



くはのわたかひがらむし……………四三  
くはのこなかひがらむし……………一一一  
や  
やなぎのわたかひがらむし……………四七  
やまたかたかひがらむし……………三  
ま  
まつむらかひがらむし……………一三六  
まつのこなかひがらむし……………一一三  
ふ  
ふぢつばかひがらむし……………八六  
ふぢのこなかひがらむし……………一一五  
ふかやかたかひがらむし……………一八  
さ  
さるすべりのふくろかひがらむし……………一〇三  
さかきのわたかひがらむし……………三三  
さくらのあかかひがらむし……………一二五  
き  
きつかふかたかひがらむし……………二七  
きふくろかひがらむし……………一〇六  
み  
みかんのわたかひがらむし……………三〇  
みかんのこなつひがらむし……………一一〇  
みかんのひめわたかひがらむし……………三五  
みかんのひもわたかひがらむし……………五三  
し  
しひのふさかひがらむし……………八三

びはこかたかひがらむし……………七六  
ひらたかたかひがらむし……………一三  
ひめわたかひがらむし……………一二〇  
ひめたまかひがらむし……………九三  
ひもわたかひがらむし……………五五  
も  
もくれんのかたかひがらむし……………二四  
もぢつわたかひがらむし……………四〇  
せ  
せきかうかひがらむし……………一五五

被害植物名索引

いぎり  
いぎりのわたかひがらむし……………三八  
いぼたのき  
いぼたかひがらむし……………六一  
いぢぢく  
おほわたかひがらむし……………一一七  
ながをこなかひがらむし……………一〇八  
さるすべりのふくろかひがらむし……………一〇三  
ろうれる  
きつかふかたかひがらむし……………二七  
はいのき  
きふくろかひがらむし……………一〇六  
ばら  
るびらふむし……………六五  
おろいぶのかたかひがらむし……………六  
はき  
わたふきかひがらむし……………一四二  
ひもわたかひがらむし……………五五  
はぜ  
るびらふむし……………六五  
かめのかふらふむし……………六七  
つのらふむし……………七〇  
はなすお  
ひらたかたかひがらむし……………一三  
はんのき

やなぎのわたかひがらむし……………四七  
もぢのわたかひがらむし……………四〇  
にれ  
にれのふくろかひがらむし……………九六  
ぼたん  
みかんのこなかひがらむし……………一一〇  
ぼけ  
たまかたかひがらむし……………九  
ぼぶら  
やなぎのわたかひがらむし……………四七  
とぼしがら  
とぼしがらのふくろかひがらむし……………一〇一  
とねりこ  
おほわたかひがらむし……………一一七  
いぼたかひがらむし……………六一  
ちや  
るびらふむし……………六五  
かめのかふらふむし……………六七  
さかきのわたかひがらむし……………三三  
りんご  
おほわたかひがらむし……………一一七  
おほかたかひがらむし……………一九  
おろいぶのかたかひがらむし……………六  
たまかたかひがらむし……………九  
つのらふむし……………七〇  
おろいぶ  
もぢのわたかひがらむし……………四〇



おりのぶのかたかひがらむし……………六  
**おかば(陸稻)**……………一三〇  
 いねのこなかひがらむし……………一三〇  
**おんしつしよくぶつ(温室植物)**……………一六  
 ながかたかひがらむし……………一六〇  
 みかんのこなかひがらむし……………一六〇  
**わた**……………一〇  
 みかんのこなかひがらむし……………一〇  
**かへて**……………一〇  
 もみぢノ部ヲ見ヨ……………一〇  
**かいだう**……………一〇  
 るびーらふむし……………六五  
 たまかたかひがらむし……………九  
**かなめ**……………九  
 ふちつぼかひがらむし……………八六  
**かや(莖)**……………八六  
 かやのこなかひがらむし……………一二九  
**かーふゐー(珈琲)**……………六  
 おりのぶのかたかひがらむし……………三  
 やまたかたかたかひがらむし……………三  
 みかんのこなかひがらむし……………一〇  
**かき**……………一〇  
 おほわたかひがらむし……………一七  
 かめのかふらふむし……………六七  
 つのらふむし……………七〇  
**かし**……………七〇  
 おほわらぢかひがらむし……………一五

かしのたまかひがらむし……………七九  
 かしのあかかひがらむし……………一三四  
 もみぢのわたかひがらむし……………四〇  
**かんきつ**……………四〇  
 るびーらふむし……………六五  
 おほわらぢかひがらむし……………一五一  
 おりのぶのかたかひがらむし……………六  
 をかだわたふきかひがらむし……………四八  
 おきつわたかひがらむし……………四九  
 わたふきかひがらむし……………四二  
 かめのかふらふむし……………六七  
 かんきつのかたかひがらむし……………二二  
 つのらふむし……………七〇  
 ながをこなかひがらむし……………一〇八  
 やまたかたかたかひがらむし……………三  
 みかんのわたかひがらむし……………三〇  
 みかんのこなかひがらむし……………一〇  
 みかんのひめわたかひがらむし……………三五  
 みかんのひもわたかひがらむし……………五三  
 ひらたかたかひがらむし……………一三  
**たばこ**……………一三  
 みかんのこなかひがらむし……………一〇  
**たけ**……………一〇  
 たけのかたかひがらむし……………七四  
 たけのわたかひがらむし……………一二二  
 たけのふくらかひがらむし……………九九  
 たけのふさかひがらむし……………八一

たけのしろをかひがらむし……………一二七  
**そてつ**……………一三  
 ひらたかたかひがらむし……………一三  
**つばき**……………一三  
 るびーらふむし……………六五  
 おりのぶのかたかたかひがらむし……………六  
 かめのかふらふむし……………六七  
 つばきのわたかひがらむし……………四五  
 つばきのわたかひがらむし……………五八  
 つのらふむし……………七〇  
 やまたかたかたかひがらむし……………三  
 ひらたかたかたかひがらむし……………一三  
**つるくさ(蔓類)**……………一三  
 ふかやかたかひがらむし……………一八  
**つた**……………一八  
 みかんのこなかひがらむし……………一〇  
 ひらたかたかひがらむし……………一三  
**つじ**……………一三  
 ひめわたかひがらむし……………二〇  
**ねむのき**……………二〇  
 ひもわたかひがらむし……………五五  
**ねずみもち**……………五五  
 いぼたかひがらむし……………六一  
**なら**……………六一  
 おほわらぢかひがらむし……………一五一  
 ならのたまかひがらむし……………九一  
 ならのふさかひがらむし……………八四

**なき**……………六五  
 るびーらふむし……………六五  
 かめのかふらふむし……………六七  
**なし**……………六七  
 るびーらふむし……………六五  
 おほかたかひがらむし……………一九  
 おりのぶのかたかたかひがらむし……………六  
 わたふきかひがらむし……………一四二  
 かめのかふらふむし……………六七  
 たまかたかひがらむし……………九  
 つのらふむし……………七〇  
 ふちつぼかひがらむし……………八六  
 もみぢのわたかひがらむし……………四〇  
**なんてん**……………四〇  
 るびーらふむし……………六五  
 わたふきかひがらむし……………一四二  
**らん**……………一四二  
 やまたかたかたかひがらむし……………三  
**むめ**……………三  
 たまかたかひがらむし……………九  
**ろしころし**……………九  
 ろしころしのわたかひがらむし……………三七  
**くろとん**……………三七  
 ながをこなかひがらむし……………一〇八  
 やまたかたかたかひがらむし……………三  
**くろむめもどき**……………三  
 たまかたかひがらむし……………九



くは  
 にしがはらかたかひがらむし……………一〇二  
 るびーらふむし……………六五  
 おほわたかひがらむし……………一一七  
 つのらふむし……………七〇  
 くはのわたかひがらむし……………四三  
 くはのこなかひがらむし……………一一一  
 ひもわたかひがらむし……………五五  
 くちなし  
 るびーらふむし……………六五  
 つのらふむし……………七〇  
 やまたかかたかひがらむし……………三  
 くり  
 かのたまかひがらむし……………七九  
 たかちほかたかひがらむし……………二一  
 ぐわば  
 ながをこなかひがらむし……………一〇八  
 やつて  
 るびーらふむし……………六五  
 やなき  
 るびーらふむし……………六五  
 つのらふむし……………七〇  
 やなきのわたかひがらむし……………四七  
 ひもわたかひがらむし……………五五  
 まつ  
 おほわらちかひがらむし……………一五一  
 まつむらかひがらむし……………一三六

六  
 まつのこなかひがらむし……………一三三  
 まさき  
 るびーらふむし……………六五  
 まき  
 るびーらふむし……………六五  
 まんご  
 ながをこなかひがらむし……………一〇八  
 けやき  
 くれのふくろかひがらむし……………九六  
 おほわらちかひがらむし……………一五一  
 おほかたかひがらむし……………一九  
 ひもわたかひがらむし……………五五  
 もみぢのわたかひがらむし……………四〇  
 ふぢ  
 おほかたかひがらむし……………一九  
 ふぢのこなかひがらむし……………一五  
 ぶだう  
 ふぢつばかひがらむし……………八六  
 もくれんのかたかひがらむし……………二四  
 こりやなき  
 きりうノ部ヲ見ヨ  
 えにしだ  
 わたふきかひがらむし……………一四二  
 えのき  
 おほわたかひがらむし……………一七  
 ひもわたかひがらむし……………五五  
 うしろしのわたかひがらむし……………三七

あは  
 いねのこなかひがらむし……………一三〇  
 あかめがしは  
 おほわたかひがらむし……………一一七  
 あし  
 びはこかたかひがらむし……………七六  
 あすはらがす  
 やまたかかたかひがらむし……………三  
 あんず  
 おりーぶのかたかひがらむし……………六  
 つのらふむし……………七〇  
 さるすべり  
 さるすべりのふくろかひがらむし……………一〇三  
 さかき  
 つばきのわたかひがらむし……………四五  
 さかきのわたかひがらむし……………三三  
 さうしじゆ(相思樹)  
 わたふきかひがらむし……………一四二  
 さくろ  
 さるすべりのふくろかひがらむし……………一〇三  
 さくら  
 さくらのあかかひがらむし……………一五  
 さくらも(櫻桃)  
 つのらふむし……………七〇  
 さざんくわ  
 かめのかふらふむし……………六七  
 つのらふむし……………七〇

七  
 ひらたかたかひがらむし……………一三  
 さんごじゆ  
 ふぢつばかひがらむし……………八六  
 きはだ  
 いぎりのわたかひがらむし……………三八  
 きりう  
 をかだわたふきかひがらむし……………一四八  
 きやうちくたう  
 おりーぶのかたかひがらむし……………六  
 やまたかかたかひがらむし……………三  
 ひらたかたかひがらむし……………一三  
 きび  
 いねのこなかひがらむし……………一三〇  
 きんらうばい  
 ふぢつばかひがらむし……………八六  
 みかん  
 かんきつノ部ヲ見ヨ  
 しひ  
 おほわらちかひがらむし……………一五一  
 かのたまかひがらむし……………七九  
 かのあかかひがらむし……………一三四  
 しひのふきかひがらむし……………八三  
 もみぢのわたかひがらむし……………四〇  
 した  
 おりーぶのかたかひがらむし……………六  
 ながをこなかひがらむし……………一〇八  
 やまたかかたかひがらむし……………三



しゆろ

ながをこなかひがらむし……………一〇八

やまたかかたかひがらむし……………三

きつかふかたかひがらむし……………二七

みかんのこなかひがらむし……………一一〇

ひさかき……………六五

るびいらふむし……………二四

ひらぎなんてん……………一三〇

いねのこなかひがらむし……………六七

もちのき……………四五

かめのかふらふむし……………五八

つばきのわたかひがらむし……………六五

つばきのわたかひがらむし……………二四

もつこく……………二四

るびいらふむし……………一四八

もくれん……………四〇

もくれんのかたかひがらむし……………三

もみぢ……………六

をかだわたふきかひがらむし……………三

もみぢのわたかひがらむし……………一五五

おりいぶのかたかひがらむし……………一五五

やまたかかたかひがらむし……………一五五

せきしやう……………一五五

せきからかひがらむし……………一五五

すもも

おりいぶのかたかひがらむし……………六

たまかたかひがらむし……………九

つものらふむし……………七〇

大正六年一月二日印刷  
大正六年一月五日發行

西ヶ原叢書刊行會藏版

正價金六圓五拾錢



著 者 桑 名 伊 之 吉  
發 行 者 橘 高 英 次 郎  
印 刷 者 東 京 市 京 橋 區 西 紺 屋 町 二 十 七 番 地  
佐 久 間 衡 次  
印 刷 所 東 京 市 京 橋 區 西 紺 屋 町 二 十 七 番 地  
會 社 秀 英 舍

發 賣 所  
發 賣 所

東 京 市 日 本 橋 區 通 一 丁 目 角  
大 阪 市 東 區 博 勢 町 四 丁 目 角

青 木 嵩 山 堂  
青 木 嵩 山 堂  
大 阪 二 二 〇 番



## 西ヶ原叢書刊行之旨趣

農業の本邦生産上首要なる位置を占むるや久し。殊に國産の増殖は、戦後の經營より、更に一段の發展・進歩を要するは勿論也。従つて輒近此種の著書、争つて編纂・刊行せらるゝを見るも雖、未だ簡要にして、實驗に富めるものに乏しきは、吾人の平素大に遺憾とする所也。

西ヶ原叢書刊行會は、如上の缺陷を補はんとて現はれたるもの、而して其目的とする所は、現代著名の學者が、各自専門の智識と、幾多の日子とを費し、悉く實驗上より得來れるものを集輯し、漸次回を逐ふて、之れを上梓せんとするにあれば、適かに坊間發售の編者と、其選を異にするや、固より言を俟たざるなり。

若し夫れ其内容の如きは、請ふ各編發行の日を待つて、之を批判せられんことを。

明治四十一年六月

## 西ヶ原叢書刊行會

農商務省農事試驗場長  
東京帝國大學農科大學長  
農學博士  
農商務省農事試驗場技師  
農學士  
植物検査官 米國理學士

古在由直先生序  
桑名伊之吉先生著

# 日本介殼蟲圖說

前編

クロース紙四六二倍判  
美本彩色石版  
精巧密畫十數頁  
正價金六圓  
小包料金拾八錢  
朝、臺、樺、支、各四拾錢

本書は斯學の泰斗たる著者が富贍なる學識を經とし十餘年の苦心を緯として五十種の介殼蟲を選び、一々精巧無比の石版畫を以て最も詳密に圖說し、之が經過習性驅除豫防等の學術的説明の如き、簡明平易を旨とし何人にも解し易く著述せられたるものにして、介殼蟲問題の喧囂たる今日寸時も無かる可らざる名著也。若夫其内容に至ては著者の學世既に定評あり、言はぬが花。吾人は唯ニウステッド、グリーンの大著と併せ、世界の三大名著として江湖に薦むるに憚らず。

發賣所

東京市日本橋區通一丁目角  
大阪東區博勞町心齋橋筋角

西ヶ原叢書刊行會  
青木嵩山堂



農商務省農事試驗場場長  
東京帝國大學農科大學長  
農學博士  
農商務省農事試驗場技師  
農學博士  
農學士  
植物病理學專攻

古在由直先生序文  
堀正太郎先生  
卜藏梅之亟先生合著

# 學理 應用 野鼠驅除法

クローヌ綴全一冊  
正價金壹圓六拾五錢  
郵税金拾貳錢  
朝、臺、構、支各貳拾錢

野鼠の害年額壹千萬圓以上と云ふ。農林蠶業界刻下の重大問題也。本書は多年斯道を攻究せる著者が此鉅額の損害を救済せんが爲、最も進歩せる學術應用の文明的野鼠驅除法を紹介せるものにして、斯界の一大福音たり。其本邦産野鼠の種類・鼠害の現況・野鼠窒扶斯菌の利用法等より進んで一般細菌及黴菌の研究法を詳記しあれば、驅除の衝に當るもの、羅針盤たるは勿論。植物病理研究者にも亦好伴侶たり。敢て江湖に一讀を奨む。

發賣所

東京市日本橋區通一丁目通  
大阪東區博勞町心齋橋筋角

西ヶ原叢書刊行會  
青木嵩山堂

農商務省農事試驗場技師  
植物検査所長米成理學士  
農商務省植物検査所  
四日市支所長

桑名伊之吉先生校閱  
村田藤七先生著

# 米麥の害蟲と豫防 驅除

クローヌ綴全一冊  
正價金壹圓七拾錢  
郵税金拾四錢  
朝、臺、構、支各貳拾錢

「千丈の堤も一蟻の穴より潰る」とは千古の金言なり。耕種肥培の術今の如く發達して増收之に伴はず、終始肥料金の犠牲に泣くは抑も何故ぞ。蟲害の用意に缺ける所あるが爲也。見す／＼害蟲に喰はるゝが爲也。優曇華が草蜻蛉の卵と知れたる今日、害蟲の驅除豫防を鎮守の蟲除札のみに依頼するは決して經濟農業の奧義にあらず。須く彼等の本性に應じて之が手段方法を講ぜざる可らず。本書は、職を西ヶ原農事試驗場昆虫部に奉じ、農業害蟲の研究に其名を知られたる著者が、十有四年間の研究調査を経として各府縣農事試驗場に於ける應用試驗成績を緯とし、米麥の害蟲一疋剩さず驅除する方法と豫防の手段とを、六ヶ敷理窟を避け、實地を旨とし、應用に便せんが爲め多數の挿書を以て、最も懇切に、最も詳細に、最も平易に記述したるもの。若し夫れ、螟蟲と浮塵子及貯穀害蟲の如きに至りては、天下一品、寔に空前の快著也。薄利に泣ける農業者諸君、速かに本書を座右の友とし、千丈の堤の一蟻の穴を穿たしむる勿れ!

發賣所

東京市日本橋區通一丁目角  
大阪東區博勞町心齋橋筋角

青木嵩山堂



農商務省農事試驗場長  
東京帝國大學農科大學長  
農學博士  
農商務省農事試驗場技師  
農學博士  
植物検査官 農學士

古在由直先生序  
西田藤次先生著

# 新編 柑橘病害と豫防法

クローヌ綴全一冊  
正價金壹圓五拾五錢  
郵税金拾貳錢  
朝、臺、樺、支各貳拾錢

西ヶ原叢書の第十三卷たる本書は、多年植物病害問題を研究せる西田農學士の新著にして、斬新なる幾多の學說と試験並に調査成績とに基き、柑橘病害の病徴病原豫防法等に關する萬般の事項を、最も要略的に叙述し、以て實地應用の資に便ならしめたるものなれば、柑橘病害發生の頻々たる今日、寔に恰好の著述たり。故に苟も柑橘を經濟的合理的に栽培せんと欲する者は須く本書の一讀を要す。

發賣所

東京市日本橋區通一丁目角  
大阪東區博勞町心齋橋筋角

西ヶ原叢書刊行會  
青木嵩山堂

外務省通商局長  
農商務省農事試驗場技師  
農學博士  
農商務省農事試驗場技師  
農學博士  
農商務省農事試驗場技師  
農學博士  
植物検査所長 農學士  
植物病理學專攻  
坂田重次郎先生序  
堀正太郎先生序  
桑名伊之吉先生序  
卜藏梅之丞先生著

# 作物病害 豫防法 驅除法

クローヌ綴全一冊  
正價金壹圓六拾錢  
郵税金拾四錢  
朝、臺、樺、支各貳拾錢

輓近作物病害の蔓延と作物病理學の發達に伴ひ斯道の著書亦尠からず而も机上の病原論に詳しく實地の豫防法に粗なるが爲め防除其法を誤り病害を免かれんとして却て作物を損傷するもの多きは吾人の甚だ遺憾とする所。本書は多年西ヶ原に在りて斯學を專攻せる著者の快著にして從來の病理書と全く其選を異にし作物病害の原因・病菌の寄生并に生活狀態傳染及傳播の方法・病害の誘因・作物品種と病害との關係・殺菌劑及防除用器械等より一般病害の豫防及驅除方法を説き穀類特用作物蔬菜果樹等の病害豫防法を述べ特に實地豫防上の要訣を加へ附するに本邦重要作物病害分布一覽表、内外病害蟲豫防法令等を記載するに簡明平易を旨としたれば病害蟲防除の任にある者と農家園藝家は勿論各種農蠶學校の參考書として唯一無二の好伴侶たり。

發賣所

東京市日本橋區通一丁目角  
大阪東區博勞町心齋橋筋角

青木嵩山堂



農商務省畜産試験場長  
農學士  
前農商務省農事試験場技師  
新潟縣加茂農學校長農學士  
農商務省農事試験場技師

中川庄司先生序文  
石塚鐵平先生  
後藤寛助先生合著

# 家畜の飼料とかがた

多年飼料問題に病める畜産界、今や漸く窮して偶々歎聲を聞かんとす。本書は這般の問題に關し多年の研鑽ある著者等のお箱にして、日本産野草類及副産物類等、苟くも飼料たるべき物料は之を拉し來つて其價值と用法とを示し、更に各種の家畜類に對し、其用途と飼ひかたとを説くに、専ら實用的に然かも飽迄日本に出でたるは本書の特點なり。徒に歐米成績を直輸入して献立を誤てる畜産家、日本野草類と副産物類の飼料價值を知りて、副利の捨收を計らんとする農業家、又は牧場經營にあるの士とを問はず、苟くも少費多穫の實を期せんとするの士、來れ而して本書を讀め!!!

發賣所

東京市日本橋區通一丁目角  
大阪東區博勢町心齋橋筋角

青木嵩山堂

クローズ綴全一冊  
正價金壹圓七拾錢  
郵税金拾六錢  
朝臺、樽、支各貳拾錢

植物病理學專攻 卜藏梅之丞先生著

# 作物病害防除便覽

ポケット型  
クローズ綴全一冊  
正價金五拾錢  
郵税金四錢

本書は、農商務省農事試験場に應用植物病理學を專攻せる著者が、最近の學理を經とし多年の研究成績を緯として、普通作物・特用作物・園藝作物の病害に就て、病原菌の傳染傳播の經路・病狀・防除法・殺菌劑の調製及び使用法等を、簡明平易を旨とし通俗的に一目瞭然、所謂「便覽實用」を本位として記載し、之をポケット型に裝禎せしもの。尙病蟲害防除に關する法令害蟲驅除劑及び輸出入植物取締法等を附載せしものなれば、農家は勿論専門家・學生無二の好伴侶たり。

發賣所

東京市日本橋區通一丁目角  
大阪東區博勢町心齋橋筋角

青木嵩山堂



農商務省農事試驗場技師  
土性部長 農學士  
農商務省農事試驗場技師

鴨下松次郎先生序  
鈴木千代吉先生著

# 土壤及作物新説

洋裝美本全二册

正價金壹圓拾錢

郵税金拾貳錢

## 本書の内容

### 第一編

●瑞典國に於ける二十五年間の育種事業 ●ケニーツヒ先生とミュンシユテル農事試驗場 ●土壤の礦物質成分に由來する石灰窒素の分解作用 ●土壤中に存在する安母尼亞性窒素の定量法 ●植物根の酸含量並に其抵抗力に就て ●土壤中に存在する有効的加里定量法 ●蚯蚓の土地生産力に及ぼす効果 ●作物の種子中に含有せらるゝ炭水化合物に對する疑義 ●土壤中に於ける石灰需要量に關する研究 ●土壤細菌に關する研究 ●各種作物の發育に及ぼす陰影の影響に就ての研究 ●畑地に於ける窒素の固定並に消失に關する研究 ●種子の成熟期中に於ける蛋白質の生成作用 ●「ユロープ、バクテリア」に就て ●果實の收量並に品質に及ぼす肥料の効果

### 第二編

●メルケル先生の傳 ●土壤有機成分の化學的性質 ●土壤及溶液中有機質物に由る硝化作用の障礙 ●土壤の酸化作用 ●耕土中に於ける雲母の生産的作用 ●土壤の硝化力及其測定法並に土地生産力に及ぼす硝化力の意義 ●土壤中に於ける安母尼亞、亞硝酸及硝酸鹽の生成と湿度との關係 ●釀造用大麥に關する諸大家の學說と其肥培法 ●麥の粗穀歩合と粉の組成蛋白質含量に及ぼす肥料の作用 ●麥類の品質と施肥との關係 ●加水分解鹽の植生に及ぼす作用 ●各種瓦斯の植生に及ぼす有害作用 ●メーア及アスファルトの有害作用 ●タールの路傍植物に及ぼす作用 ●厨肥の窒素損失と土壤との關係 ●植物の空氣栽培法 ●都市附近の不純空氣の性質及植生上の影響 ●呼吸作用と糖分の分解 ●砒素所含土壤の生産力 ●腐植質の酸化及同化窒素 ●土壤色澤論 ●禾本科植物根の伸長範圍 ●自然的腐植質物の刺戟作用 ●作物凍害の化學的研究

發賣所

東京市日本橋區通一丁目角  
大阪東區心齋橋筋博勞町角

青木高山堂



78  
95





終